

令和3年度第2期青梅市子ども・子育て支援事業計画の検証報告

1 検証シート評価結果（第2部第1章）

評価	判断基準	令和3年度	令和2年度 (参考)
A	90%以上の達成 ほぼ達成できた	38	38
B	70%以上 90%未満の達成 かなり進展した 達成に近づいている	0	0
C	30%以上 70%未満の達成 あまり進展していない 達成には遠い	0	0
D	30%未満の達成 ほとんど進展していない 実施できなかった	0	0
	合計	38	38

2 検証シート評価結果（第2部第2章）

評価	判断基準	令和3年度	令和2年度 (参考)
○	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な取組を行った 一定の成果を上げた 大きな課題や問題点はない 	128	130
△	<ul style="list-style-type: none"> 一部の取組を行った 多少の成果を上げた 課題や問題点がある 	19	10
×	<ul style="list-style-type: none"> 取組を行わなかった 取組を行ったが成果は上がらなかった 大きな課題が残った 	1	6
—	<ul style="list-style-type: none"> 事業終了 今年度該当なし 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 	7	9
	合計	155	155

令和3年度第2期青梅市子ども・子育て支援事業計画の検証報告

第2部第1章に掲載した事業

(1) 「子ども・子育て支援法」に掲げられた地域子ども・子育て支援事業など

施設型給付（1）幼稚園・幼児園

事業内容：学校教育法にもとづく教育機関で、保護者の就労状況にかかわらず3歳から入園できます。3歳になる学年（満3歳児）の受け入れや預かり保育を行っている園もあります。

提供区域：1

担当部署：子育て推進課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	807	621	595	552	525	510
	確保提供総数	1,471	1,276	1,276	1,276	1,276	1,276
	差異	664	655	681	724	751	766
実数	利用申請者数	486	445	371			
	提供実数	1,471	1,276	1,256			
	差異	985	831	885			

※ 実数については5月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望者全員に幼児教育の場を提供できています。
取組内容	市内に、私立幼稚園6園、幼児園1園の計7園あります。幼稚園のうち令和2年4月に1園、令和3年4月に1園がそれぞれ認定こども園に移行しました。
備考	満3歳児クラスは、5か所の幼稚園と1か所の幼児園の計6園で、預かり保育は全園で実施しています。

施設型給付（2）認可保育所等

事業内容：保護者の就労や病気などで、家庭でお子さんをみることができない場合に、保護者の代わりに保育する施設です。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	利用者推計総数	2,564 (2,478)	2,521	2,433	2,350	2,264	2,196
	2号認定	1,510 (1,470)	1,510	1,456	1,348	1,289	1,249
	3号認定(0歳)	248 (155)	248	242	235	228	221
	3号認定(1・2歳)	763 (853)	763	735	767	747	726
	確保提供総数	2,640	2,744	2,744	2,744	2,744	2,744
	2号認定	1,585	1,644	1,644	1,644	1,644	1,644
	3号認定(0歳)※	211	217	217	217	217	217
	3号認定(1・2歳)	844	883	883	883	883	883
	差異	76	223	311	394	480	548
	実 数	利用申請者数	2,588	2,595	2503		
2号認定		1,503	1,515	1496			
3号認定(0歳)		166	207	190			
3号認定(1・2歳)		919	873	817			
提供実数		2,793	2,897	2895			
2号認定		1,642	1,701	1701			
3号認定(0歳)※		252	258	260			
3号認定(1・2歳)		899	938	934			
差異		205	302	392			

※ 小規模保育事業と家庭的保育事業の数値を含む。

※ ()内の数字は、他地域間の入所者数を含む。

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	概ね、希望者全員に保育の場を提供できています。
取 組 内 容	市内32園のうち、東部地区に25園あります。
備 考	延長保育、障害児保育、病後児保育、アレルギー児の受入れ、一時預かり、子育て広場等を実施しています。

〈西部地域〉

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	利用者推計総数	304 (312)	226	207	199	183	178
	2号認定	202 (205)	145	127	119	106	105
	3号認定(0歳)	11 (11)	20	19	18	17	17
	3号認定(1・2歳)	91 (96)	61	61	62	60	56
	確保提供総数	345	345	345	345	345	345
	2号認定	207	207	207	207	207	207
	3号認定(0歳)	32	32	32	32	32	32
	3号認定(1・2歳)	106	106	106	106	106	106
	差異	41	119	138	146	162	167
	実 数	利用申請者数	263	252	229		
2号認定		172	157	141			
3号認定(0歳)		10	14	17			
3号認定(1・2歳)		81	81	71			
提供実数		320	320	320			
2号認定		195	195	195			
3号認定(0歳)※		27	27	27			
3号認定(1・2歳)		98	98	98			
差異		57	68	91			

※ () 内の数字は、他地域間の入所者数を含む。

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	希望者全員に保育の場を提供できています。
取 組 内 容	市内32園のうち、西部地区に5園あります。
備 考	延長保育、障害児保育、病後児保育、アレルギー児の受入れ、一時預かり、子育て広場等を実施しています。

〈北部地域〉

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	利用者推計総数	61 (139)	53	54	52	21	50
	2号認定	39 (89)	31	33	33	32	32
	3号認定(0歳)	0 (8)	5	4	4	4	4
	3号認定(1・2歳)	22 (42)	17	17	15	15	14
	確保提供総数	175	175	175	175	175	175
	2号認定	106	106	106	106	106	106
	3号認定(0歳)	12	12	12	12	12	12
	3号認定(1・2歳)	57	57	57	57	57	57
	差異	114	122	121	123	124	125
	実 数	利用申請者数	139	126	126		
2号認定		89	83	77			
3号認定(0歳)		8	4	6			
3号認定(1・2歳)		42	39	43			
提供実数		175	175	175			
2号認定		106	106	106			
3号認定(0歳)※		12	12	12			
3号認定(1・2歳)		57	57	57			
差異		36	49	49			

※ () 内の数字は、他地域間の入所者数を含む。

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	希望者全員に保育の場を提供できています。
取 組 内 容	市内32園のうち、北部地区に2園あります。
備 考	延長保育、障害児保育、病後児保育、アレルギー児の受入れ、一時預かり、子育て広場等を実施しています。

施設型給付（3）認定こども園

事業内容：保護者の労働の有無にかかわらず入園でき、幼児教育と保育を一体的に提供し、地域における子育て支援機能を備えた施設です。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	確保提供総数	38	76	76	76	76	76
	1号認定	教育部分1号認定は、幼稚園へ計上					
	2号認定	20	38	38	38	38	38
	3号認定(0歳)	6	6	6	6	6	6
	3号認定(1・2歳)	12	32	32	32	32	32
実数	提供実数	38	76	190			
	1号認定	教育部分1号認定は、幼稚園へ計上					
	2号認定	20	38	129			
	3号認定(0歳)	6	6	10			
	3号認定(1・2歳)	12	32	51			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	事業計画どおり保育の場を提供できています。
取組内容	東部地区に2園あります。延長保育、一時預かり等を実施しています。
備考	令和2年度より、幼稚園1園が認定こども園へ移行しました。 また、令和3年度より、幼稚園1園が認定こども園へ移行します。

<西部地域>

実施園はありません。

<北部地域>

実施園はありません。

地域型保育給付（1）小規模保育事業

事業内容：国が定める基準に適合し、市町村の認可を受けた施設において、満3歳未満の子どもを、少人数（6～19名以下）単位で預かる事業です。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	確保提供総数	43	41	41	41	41	41
	3号認定(0歳)	13	13	13	13	13	13
	3号認定(1・2歳)	30	28	28	28	28	28
実 数	提供実数	43	43	41			
	3号認定(0歳)	13	13	13			
	3号認定(1・2歳)	30	30	28			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	希望者全員に保育の場を提供できています。
取 組 内 容	市内に3園あり、各園とも、特色を出した保育を実施しています。
備 考	さらなる保育の質の向上に努めます。

<西部地域>

実施園はありません。

<北部地域>

実施園はありません。

地域型保育給付（2）家庭的保育事業

事業内容：保育者の家庭などでお子さんを預かるサービスです。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	確保提供総数	20	20	20	20	20	20
	3号認定(0~2歳)	20	20	20	20	20	20
実 数	提供実数	20	20	20			
	3号認定(0~2歳)	20	20	20			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	希望者全員に保育の場を提供できています。
取 組 内 容	市内に4か所あります。延長保育、一時預かり等を実施しています。
備 考	さらなる保育の質の向上に努めます。

<西部地域>

実施園はありません。

<北部地域>

実施園はありません。

地域型保育給付（3）事業所内保育事業

事業内容：企業などが、主に従業員用に運営し、周辺に在住している子どもの受け入れも行う保育施設です。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

1施設で実施していましたが、令和2年度より認可保育所へ移行しました。

<西部地域>

実施園はありません。

<北部地域>

実施園はありません。

地域型保育給付（4）居宅訪問型保育事業

事業内容：保護者が何らかの理由により保育が困難になった場合、障害・疾患などで個別のケアが必要な場合などへの対応で、保護者の自宅で1対1で保育を行う事業です。

提供区域：1

担当部署：子育て推進課

現在該当する事業はありません。

相談支援（1）利用者支援事業

事業内容：子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供および必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課・健康課

○ 見込量と確保提供総数および現状数（基本型・特定型） 単位：か所

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	1	1	1	1	1	1
	確保提供総数	1	1	1	1	1	1
	差異	0	0	0	0	0	0
実数	利用申請者数	1	1	1			
	提供実数	1	1	1			
	差異	0	0	0			

○ 見込量と確保提供総数および現状数（母子保健型） 単位：か所

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	1	1	1	1	1	1
	確保提供総数	1	1	1	1	1	1
	差異	0	0	0	0	0	0
実数	利用申請者数	1	1	1			
	提供実数	1	1	1			
	差異	0	0	0			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	子育て支援センターにおいて利用者支援事業（基本型）を、子育て世代包括支援センターにおいて利用者支援事業（母子保健型）を実施しました。（子ども家庭支援課・健康課）
取組内容	利用者支援事業（基本型）では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等情報の集約・提供、相談および関係機関との連絡調整等を実施、利用者支援事業（母子保健型）では、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応しました。（子ども家庭支援課・健康課）
備考	周知を図り、利用者の増に取り組みます。

相談支援（2）地域子育て支援拠点事業

事業内容：主に乳幼児とその保護者に対する育児支援を目的とした事業。保育士や保健師による子育て相談、親子遊びなどの催し、フリースペースの解放などを行う。

提供区域：3

担当部署：子ども家庭支援課

<東部区域>

■子育てひろば 14か所 支援事業 7か所

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人回/月

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	利用者推計総数	5,747	5,638	5,531	5,426	5,323	5,221
	確保提供総数	25,530	24,844	24,844	24,844	24,844	24,844
	差異	19,783	19,206	19,313	19,418	19,521	19,623
実 数	利用申請者数	4,809	1,309	1,847			
	提供実数	17,451	12,917	15,072			
	差異	12,642	11,608	13,225			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用休止や利用人数等の制限など感染防止対策を講じて実施しました。
取 組 内 容	子育て支援センターや保育所等で事業を実施しました。
備 考	感染状況を見ながら利用者の増に取組みます。

<西部区域>

■子育てひろば 2か所 支援事業 2か所

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人回/月

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	333	322	311	301	290	281
	確保提供総数	785	796	796	796	796	796
	差異	452	474	485	495	506	515
実数	利用申請者数	285	86	79			
	提供実数	703	455	469			
	差異	418	369	390			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用休止や利用人数等の制限など感染防止対策を講じて実施しました。
取組内容	保育所等で事業を実施しました。
備考	感染状況を見ながら利用者の増に取組みます。

<北部区域>

■子育てひろば 1か所

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人回/月

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	4	5	5	5	5	5
	確保提供総数	235	235	235	235	235	235
	差異	231	230	230	230	230	230
実数	利用申請者数	6	1	0			
	提供実数	216	98	72			
	差異	210	97	72			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用休止や利用人数等の制限など感染防止対策を講じて実施しました。
取組内容	保育所等で事業を実施しました。
備考	感染状況を見ながら利用者の増に取組みます。

訪問系事業（1）乳幼児家庭全戸訪問事業

事業内容：生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や
 養育環境等の把握を行う事業。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	対象児童推計総数	752	738	725	712	699	687
	確保提供総数	752	738	725	712	699	687
	差異	0	0	0	0	0	0
実 数	対象児童数	672	589	586			
	提供実数	706	618	607			
	差異	34	29	21			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	コロナ禍の中、子育て家庭の孤立を防ぐため、転出等（21件）を除き、対象家庭を訪問することができました。
取 組 内 容	民生・児童委員および市職員が、転出等を除く生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問しました。
備 考	継続実施します。

訪問系事業（2）養育支援訪問事業

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人回/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	10	11	11	12	13	14
	確保提供総数	48	48	48	48	48	48
	差異	38	37	37	36	35	34
実数	利用申請者数	11	11	9			
	提供実数	41	48	48			
	差異	30	37	39			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	支援が必要な妊産婦に、育児支援ヘルパーの派遣を行いました。
取組内容	産前・産後で家事および育児が困難な妊産婦に対して、ヘルパーの派遣を行うとともに、養育に関する相談・指導・助言等を行うため、子ども家庭支援センターの相談員や健康センターの保健師が家庭訪問を行いました。
備考	コロナ禍の影響などから利用者が少ないため、引き続き事業の周知に努めます。

訪問系事業（3）新生児訪問事業

事業内容：新生児の発育、栄養、生活環境、疾病予防等育児上重要な事項の指導を目的として、
生後28日未満の新生児を対象に保健師等が訪問する事業です。

提供区域：1

担当部署：健康課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：件

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	—	—	—	—	—	—
	確保提供総数	—	—	—	—	—	—
	差異	—	—	—	—	—	—
実数	利用申請者数	323	350	278			
	提供実数	323	350	278			
	差異	0	0	0			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	出生通知票の提出を受け全ての人に電話による訪問案内を実施し、訪問を行いました。
取組内容	出生通知票の提出を受け、全ての人に電話による訪問案内を実施しています。 必要な方には適切なサービスを案内しています。
備考	出生通知票の提出を受け、早い対応を心がけています。

訪問系事業（4）未熟児訪問事業

事業内容：早期産や低出生体重で生まれた赤ちゃんは、生理的に未熟で、また、心や体の発達も正期産児に比べ遅れることも少なくないため、保健師が家庭を訪問し、育児支援を行います。

提供区域：1

担当部署：健康課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：件

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	—	—	—	—	—	—
	確保提供総数	—	—	—	—	—	—
	差異	—	—	—	—	—	—
実数	利用対象者数	61	54	51			
	提供実数	16	8	2			
	差異	▲45	▲46	▲49			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	低体重等で生まれた赤ちゃんの家庭を訪問し育児支援を実施しました。
取組内容	2,500g未満の低体重で生まれた赤ちゃんの家庭に、出生の早い時期から電話で家庭の状況を伺いながら、育児支援を実施しました。長期入院の乳児に対しては母親と連絡をとり、母親の不安感に寄り添って支援を実施しました。
備考	早期に連絡をとり、安心して育児ができるよう支援します。

通所系事業（1）子育て短期支援事業

事業内容：保護者が生後57日目から小学校就学前の子どもを一時的に家庭で養育できない場合、
宿泊を伴い原則7日間を限度に利用できる事業。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	255	246	237	228	220	212
	確保提供総数	1,095	1,095	1,095	1,095	1,095	1,095
	差異	840	849	858	867	875	883
実数	利用申請者数	77	26	78			
	提供実数	1,086	1,095	1,095			
	差異	1,009	1,069	1,017			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時利用休止をしましたが、申請のあったすべての利用者が利用できました。
取組内容	市内乳児院・児童養護施設に事業を委託し、実施しました。
備考	小学生まで利用範囲を拡大することが、今後の課題です。

通所系事業（2）一時預かり事業（保育所等）

事業内容：病気やけが、冠婚葬祭など、保護者の事情でやむを得ず家庭での保育が困難になった場合、保育所等で未就学児を一時的に預かる事業です。育児による疲労・ストレスなどを感じた場合も利用できます。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

< 東部地域 >

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		3,200	3,111	3,047	2,946	2,858
	確保提供総数	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400
	差異		7,180	7,289	7,353	7,454	7,542
実数	利用申請者数	580	801	622			
	提供可能数	8,160	10,560	10,560			
	差異	7,580	9,759	9,938			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	計画どおりに提供できました。
取組内容	認可保育所8園、認定こども園1園、小規模保育園1園、家庭的保育者1名で実施。
備考	継続実施します。

< 西部地域 >

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		280	261	254	236	227
	確保提供総数	4,160	4,160	4,160	4,160	4,160	4,160
	差異		3,880	3,899	3,906	3,924	3,933
実数	利用申請者数	433	224	148			
	提供可能数	3,840	3,840	3,120			
	差異	3,407	3,616	2,972			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	計画どおりに提供できました。
取組内容	認可保育所2園で実施しました。
備考	継続実施します。

<北部地域>

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		66	68	65	63	62
	確保提供総数	0	0	0	0	0	0
	差異		▲66	▲68	▲65	▲63	▲62

現在、実施施設はありません。

通所系事業（3）一時預かり事業①幼稚園

事業内容：実施幼稚園に在園する幼児を、教育時間終了後に引き続き保育を希望する場合に預かる事業です。

提供区域：1

担当部署：子育て推進課

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		16,934	16,230	15,065	14,341	13,913
	確保提供総数	18,408	18,408	18,408	18,408	18,408	18,408
	差異		1,474	2,178	3,343	4,067	4,495
実数	利用申請者数	8,505	7,196	7,173			
	提供実数	78,750	61,250	61,250			
	差異	70,245	54,054	54,077			

※ 年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	申請のあったすべての利用者が利用できました。
取組内容	市内のすべての幼稚園で実施しています。
備考	令和元年10月から実施の幼児教育・保育の無償化により、利用料が無償（上限あり）となっています。

通所系事業（3）一時預かり事業（②ファミリー・サポート・センター等）

事業内容：病気やけが、冠婚葬祭など、保護者の事情でやむを得ず家庭での保育が困難になった場合、ファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業および障がい福祉サービス事業で児童を一時的に預かる事業です。

提供区域：1区域

担当部署：子ども家庭支援課・障がい者福祉課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	1,213	1,204	1,195	1,186	1,178	1,170
	確保提供総数	5,815	6,015	6,215	6,415	6,615	6,815
	差異	4,602	4,811	5,020	5,229	5,437	5,645
実数	利用申請者数	36,511	39,367	45,176			
	確保数	36,511	39,367	45,176			
	差異	0	0	0			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部利用制限をしましたが、申請のあったすべての利用者が利用できました。
取組内容	ファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業および障がい福祉サービス事業で児童を一時的に預かる事業を実施しました。
備考	利用会員がより利用しやすくなるよう、提供会員の増加を図ります。

通所系事業（4）延長保育事業

事業内容：通常の保育時間の前後に、保育所が在所児を預かる事業です。本市では、仕事や一時的な用事などに応じて、延長保育を実施しています。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地区>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		158	152	148	142	138
	確保提供総数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	差異		1,342	1,348	1,352	1,358	1,362
実数	利用申請者数	1,256	1,201	1,271			
	提供可能数	2,700	2,909	2,810			
	差異	1,444	1,708	1,539			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望者全員に提供できました。
取組内容	すべての保育施設で延長保育を実施している。延長保育の希望があれば、すべての希望者が利用できました。
備考	需要を見極め保育所と延長時間を調整していきます。

<西部地区>

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		14	13	12	11	11
	確保提供総数	120	120	120	120	120	120
	差異		106	107	108	109	109
実数	利用申請者数	87	64	38			
	提供可能数	285	285	280			
	差異	198	221	242			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望者全員に提供できました。
取組内容	すべての保育施設で延長保育を実施している。延長保育の希望があれば、すべての希望者が利用できました。
備考	需要を見極め保育所と延長時間を調整していきます。

<北部地域>

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数		3	3	3	3	3
	確保提供総数	50	50	50	50	50	50
	差異		47	47	47	47	47
実数	利用申請者数	43	15	25			
	提供実数	175	175	175			
	差異	132	160	150			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望者全員に提供できました。
取組内容	すべての保育施設で延長保育を実施している。延長保育の希望があれば、すべての希望者が利用できました。
備考	需要を見極め保育所と延長時間を調整していきます。

通所系事業（5）病児・病後児保育事業

事業内容：病気や病気の回復期にあるお子さんを対象に、保育所での集団保育が困難で、かつ保護者の事情により家庭で保育できないときに一時的に保育する施設です。

提供区域：1

担当部署：子育て推進課

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人日/年

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	300	1,431	1,379	1,335	1,283	1,245
	確保提供総数	1,000	1,666	2,000	2,000	2,000	2,000
	差異	700	235	621	665	717	755
実数	利用申請者数	137	116	203			
	提供可能数	1,000	1,520	1,920			
	差異	863	1,404	1,717			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望者全員に提供できました。
取組内容	病児保育事業を1園、病後児保育事業を1園で実施しました。
備考	継続実施します。

通所系事業（6）学童保育事業（放課後児童クラブ）

事業内容：仕事などにより、昼間保護者が家庭にいない児童を対象に、遊びや生活の場を提供します。

提供区域：4

担当部署：子育て推進課

<東部地域>低学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	1,070	1,124	1,143	1,122	1,096	1,057
	確保提供総数	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111
	差異	41	▲13	▲32	▲11	15	54
実数	利用申請者数	1,070	1,065	997			
	提供実数	1,028	1,026	958			
	差異	▲42	▲39	▲39			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	待機児童について低学年は昨年と同数となりましたが、東部地域全体では昨年より減少しています。
取組内容	令和元年度から5年間の協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	待機児童が比較的多く発生する新町小、若草小、霞台小の中間地点に新たな民間学童保育所の施設整備に対する補助を実施し、令和3年4月に市内3ヶ所目となる民間学童保育所が開所しました。

<東部地域>高学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	163	161	171	180	187	186
	確保提供総数	132	132	132	132	132	132
	差異	▲31	▲29	▲39	▲48	▲55	▲54
実数	利用申請者数	163	177	166			
	提供実数	132	144	145			
	差異	▲31	▲33	▲21			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	入所児童の増加を図ることが出来たため。
取組内容	令和元年度から5年間の協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	待機児童が比較的多く発生する新町小、若草小、霞台小の中間地点に新たな民間学童保育所の施設整備に対する補助を実施し、令和3年4月に市内3ヶ所目となる民間学童保育所が開所しました。

<西部地域>低学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	187	154	133	115	113	102
	確保提供総数	200	200	200	200	200	200
	差異	13	46	67	85	87	98
実数	利用申請者数	187	183	175			
	提供実数	187	183	173			
	差異	0	0	▲2			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	概ね希望する児童について学童保育所の利用ができました。
取組内容	令和元年度から5年間の協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

＜西部地域＞高学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	39	36	32	28	22	20
	確保提供総数	49	49	49	49	49	49
	差異	10	13	17	21	27	29
実数	利用申請者数	39	44	34			
	提供実数	38	43	29			
	差異	▲1	▲1	▲5			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	概ね希望する児童について学童保育所の利用ができました。
取組内容	令和元年度から5年間の協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

＜北部小曾木地区地域＞低学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	10	12	10	8	8	8
	確保提供総数	30	30	30	30	30	30
	差異	20	18	20	22	22	22
実数	利用申請者数	10	12	11			
	提供実数	10	12	11			
	差異	0	0	0			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望する児童全員について学童保育所の利用ができました。
取組内容	令和元年度から協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

＜北部小曾木地区地域＞高学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	1	0	2	2	1	1
	確保提供総数	7	7	7	7	7	7
	差異	6	7	5	5	6	6
実数	利用申請者数	1	0	3			
	提供実数	7	0	3			
	差異	6	0	0			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望する児童全員について学童保育所の利用ができました。
取組内容	令和元年度から5年間の協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

＜北部成木地域＞低学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	13	10	9	7	7	6
	確保提供総数	20	20	20	20	20	20
	差異	7	10	11	13	13	14
実数	利用申請者数	13	9	11			
	提供実数	13	9	11			
	差異	0	0	0			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	希望する児童全員について学童保育所の利用ができました。
取組内容	令和元年度から協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

<北部成木地域>高学年

○ 見込量と確保提供総数および現状数

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	利用者推計総数	9	4	3	1	1	1
	確保提供総数	9	9	9	9	9	9
	差異	0	5	6	8	8	8
実 数	利用申請者数	9	4	1			
	提供実数	9	4	1			
	差異	0	0	0			

※ 実数については4月1日現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評 価	A
評 価 理 由	希望する児童全員について学童保育所の利用ができました。
取 組 内 容	令和元年度から協定により、市内の学童保育所を4つの指定管理者で管理運営を行った。
備 考	施設の老朽化等の修繕・改修について引き続き検討が必要です。

通所系事業（7）放課後子ども総合プラン 青梅市行動計画

事業内容：共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、すべての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごせ、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブおよび放課後子供教室の計画的な整備等を進めます。

提供区域：-

担当部署：社会教育課

- 放課後子ども教室の平均利用者数（1回当たりの全16校合計数）

単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実数	利用申請者数	515	586	416			
	提供実数	515	586	416			
	差異	0	0	0			

- 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	全ての放課後子ども教室実施校で実施することが出来ました。
取組内容	16校全校（東小を除く）の実施を継続することができました。
備考	例年、各放課後子ども教室実施校で週1回程度実施している放課後児童クラブとの一体・連携開催は、新型コロナウイルス感染症の拡大により実施しなかった。

その他事業（1）ファミリー・サポート・センター事業

事業内容：児童の預かり等の援助を受けることを希望する者（利用会員）と援助を行うことを希望する者（提供会員）が、地域の中で助け合いながら子育てをする有償ボランティアの会員組織です。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	958	958	958	958	958	958
	確保提供総数	4,720	4,920	5,120	5,320	5,520	5,720
	差異	3,762	3,962	4,162	4,362	4,562	4,762
実数	利用申請者数	1,008	790	1,151			
	提供実数	7,885	4,920	4,860			
	差異	6,877	4,130	3,709			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	申請のあったすべての利用者が利用できました。
取組内容	会員制の有償ボランティア事業として、NPO法人に委託し事業を実施しました。
備考	利用会員がより利用しやすくなるように、ポスター掲示や、市広報、子育てアプリなどで広く周知を行い、提供会員の増を図ります。

その他事業（2）妊婦健康診査事業

事業内容：妊婦の健康の保持および増進を図るため、妊娠に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

提供区域：1

担当部署：健康課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：人(延人数)

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	—	—	—	—	—	—
	確保提供総数	—	—	—	—	—	—
	差異	—	—	—	—	—	—
実数	利用申請者数	11,960	9,968	8,853			
	提供実数	8,103	8,103	7,777			
	差異	▲2,964	▲1,865	▲1,076			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	都内のかかりつけ医療機関に妊婦健康診査を委託することにより、高い受診率を維持しています。
取組内容	妊娠期間中に妊婦健康診断（14回）、超音波検査（1回）、子宮頸がん検診（1回）を実施しています。
備考	委託外の医療機関で妊婦健康診断を行った場合実費額を助成しています。

その他事業（3）実費徴収にかかる補足給付を行う事業

事業内容：保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用、または行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

提供区域：1

担当部署：子育て推進課

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	保育施設等利用者全員へ周知しました。
取組内容	14人に対し延べ110月分を助成しました。
備考	継続実施します。

その他事業（4）多様な主体が参画することを促進するための事業

事業内容：待機児童解消加速化プランによる保育の受け皿拡大や子ども・子育て支援新制度の円滑な施行のために、多様な事業者の能力を活用しながら、保育所、小規模保育などの設置を促進していく事業です。

提供区域：3

担当部署：子育て推進課

<東部地域>

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	病児保育を設置しました。
取組内容	市内で初めてとなる病児保育施設の設置を行いました。
備考	継続実施します。

<西部地域>

該当施設はありません。

<北部地域>

該当施設はありません。

その他事業（5）児童虐待防止ネットワーク事業

事業内容：青梅市要保護児童対策地域協議会の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化を図るとともに、児童福祉専門員等による研修会を開催する事業です。

提供区域：1

担当部署：子ども家庭支援課

○ 見込量と確保提供総数および現状数 単位：件

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	利用者推計総数	—	—	—	—	—	—
	確保提供総数	—	—	—	—	—	—
	差異	—	—	—	—	—	—
実数	利用申請者数	1	1	1			
	提供実数	1	1	1			
	差異	0	0	0			

※ 実数については年度末現在

○ 令和3年度事業結果の検証

評価	A
評価理由	児童虐待防止啓発として虐待防止動画を作成するとともに関係者間で研修を行うなど、組織の機能強化を図りました。また、テレビ会議システムを利用し、児童相談所との連携強化を図り迅速かつ適切な対応に努めました。
取組内容	虐待防止動画を作成し研修を行う等、関係組織の機能強化を図りました。
備考	講演会や研修会の実施を通して、児童虐待の防止および早期発見への理解を深めていきます。

第2部第2章 子ども・子育て支援施策の具体的な展開

担当課評価について

○	・効果的な取組を行った ・一定の成果を上げた ・大きな課題や問題点はない
△	・一部の取組を行った ・多少の成果を上げた ・課題や問題点がある
×	・取組を行わなかった ・取組を行ったが成果は上がらなかった ・大きな課題が残った
—	・事業終了 ・今年度該当なし ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

区分の表記について

次世代	青梅市次世代育成支援地域行動計画から継承する事業
子・若	青梅市子ども・若者計画
貧困対策	青梅市子どもの貧困対策計画

1 子どもが伸びやかに育つまちづくり

(1) 子どもが安心して楽しく過ごせるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
1	福祉のまちづくりの推進	次世代	「青梅市福祉まちづくり整備要綱」および「東京都福祉のまちづくり条例」にもとづき、施設、歩道、公園などのバリアフリー化を進めます。	東京都の補助金を活用し、公園や体育施設等の和式トイレ30ヶ所を洋式に改修した。令和4年度についても引続き駅、公園および体育施設等トイレの洋式化に向け関係課と調整を図ってまいります。	○	福祉総務課
2	福祉マップの改定	次世代	①平成22年度に作成した福祉マップを保護者の視点を参考に、必要に応じ改定します。 ②次期改定時に、福祉マップのホームページ化を検討します。	①②ホームページへの掲載に向けて、関係課との調整を図り、掲載できるよう努めます。	×	福祉総務課
3	有害環境対策の推進	次世代 子・若	事業者や地域住民とも連携し、性や暴力などの子どもに対する有害情報の自主的規制を推進します。	ビデオソフト販売店およびレンタルビデオ店経営者4件に対し、子どもに対する有害情報の自主的規制を依頼しました。	○	子ども家庭支援課
4	子どもの交通事故や災害被害のないまちづくりの推進	次世代 子・若	①警察等と連携し、交通安全総点検を実施して、通学路の安全確保に努めます。 ②子どもに対する交通安全教育の充実を図ります。 ③幼児・児童用自転車ヘルメット購入費の助成を実施します。	①交通安全総点検を実施し、通学路の安全に努めました。 対象校：成木小学校（2/21）、河辺小学校（2/22）、藤橋小学校（2/24） （都市整備部管理課）（土木課）（市民安全課）（学務課） ②小学生、中学生を対象に交通安全教室を実施し、自転車の交通ルール・マナーを学び、交通安全の徹底を図りました。（市民安全課） ・青梅市自転車運転免許証交付事業 対象：小学3年生 参加人数 966人（市内小学校16校） ・自転車安全教室（スケアード・ストレイト） 第六中学校（6/24：44人）吹上中学校（12/13：167人） ③幼児・児童用自転車ヘルメットを事業協力店で購入しようとする保護者に対し、ヘルメット1個につき2,000円の助成を実施しました。自転車ヘルメットの普及を図り、交通事故の防止および交通事故による被害の軽減に寄与しました。（市民安全課） 助成人数：87人、助成個数：111個	○	市民安全課 都市整備部管理課 土木課 学務課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
5	子どもを犯罪等の被害から守るまちづくりの推進	次世代 子・若	①通学路などに街路灯などの整備を図ります。 ②子どもや保護者に対して犯罪等に関する情報提供を速やかに行うとともに、全校でのセーフティ教室などを行います。 ③防犯パトロールや「子ども110番の家」など、防犯ボランティア活動を促進します。	①青梅市管理の街路灯はLED灯に整備済みです。(都市整備部管理課) ②不審者等に関する情報について速やかに周知するとともに、全小中学校でセーフティ教室を実施しました。(指導室) ③学校、保護者で組織する「子ども安全ボランティア」の防犯パトロールにスクールガードリーダーが同行し、防犯活動の支援を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各小学校における地域巡回活動数は、前年度に引き続き、例年より減少しました。「子ども110番の家」については、令和4年3月31日現在の登録件数は、2,057件であり、新規登録の受付、表示旗の一部更新を行いました。(教育総務課) ③各地区の自主防犯組織において、防犯パトロールおよび啓発活動を行いました。(市民安全課)	○	市民安全課 子育て推進課 都市整備部管理課 教育総務課 指導室
6	子育てにやさしいまちづくりの推進	次世代 子・若	子育て世帯の定住や転入を促すため、子育て世帯への入居支援と合わせて、その受け皿となる良質な住宅の供給に努めます。	市営住宅の空き室募集を行い、入居した18世帯のうち、7世帯が子育て世帯でした。その内、子育てファミリー向け住宅に認定されている住宅には1世帯の入居がありました。 また、例年と同様に東京都が実施している「東京都子育て支援住宅認定制度」の情報発信や「子育てに配慮した住宅のガイドライン」の周知を図りました。	○	住宅課
7	公園・緑地、児童遊園の活用	次世代 子・若	都市公園、児童遊園の定期的な施設の点検・清掃、遊具の更新などの管理を行います。	都市公園、児童遊園等については、利用者の安全・安心および快適な利用環境を確保するため、清掃業務、樹木手入れ業務、巡視業務、設備保守点検業務および遊具施設等点検業務などの管理業務を実施した。 また、上記業務の中で公園施設の不良個所が確認されたものについては、随時修繕等を実施し快適な利用環境の確保に努めました。 さらに、公園施設長寿命化計画に沿った取り組みとして、公園の遊具の一部について更新を行いました。	○	公園緑地課
8	公園・緑地内の緑地管理ボランティア育成	次世代 子・若	公園・緑地内の緑地を管理するボランティアの育成を図ります。	緑地管理ボランティア、大塚山いこいの森ボランティアのいずれの活動も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。	—	公園緑地課
9	自然環境を生かした子育て環境づくり	次世代	恵まれた自然環境の中で、子どもたちが集い、遊び過ごせる場所づくりを検討します。	公園において、子供たちが安心して自然にふれ合えるよう園路および植栽等の管理作業を実施した。(公園緑地課)	○	公園緑地課 子ども家庭支援課
10	子育て支援事業の拡充	次世代 子・若	市民センターなどを会場にした子育て支援事業を拡充するとともに自治会館などの既存施設の活用の拡大を図ります。また、ボランティアの協力を受けながら運営の充実を図ります。	市民センター等9か所において、子育て支援事業を実施しました。また、NPOに委託し、未就学児と保護者を対象とした子育て支援に関する講座「親子スキップ教室」を9か所8回ずつ実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時中止や利用人数の制限などの感染防止対策を講じて実施しました。(子ども家庭支援課)	○	子ども家庭支援課

(2) 「生きる力」を育む教育の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
11	就学前教育の充実	次世代 子・若	市民センターや体育館などにおいて、地域の実情に応じ、幼児のための教室を設け、学習機会を提供します。	指定管理者自主事業として登録制教室でジュニアフットサル教室（年中年長クラス）、体育教室を実施しました（参加者延べ35人）。（スポーツ推進課） 子育て支援に関する講座「親子スキップ教室」を9か所8回ずつ、人数制限などの感染対策を講じて実施しました。乳幼児向け体験イベント「あつまれ！0・1・2・3ちびっこ☆ランド」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。（子ども家庭支援課）	△	子ども家庭支援課 スポーツ推進課
12	学ぶ意欲と基礎学力の向上	次世代 子・若	①教師の研究活動や研修の充実を図り、楽しい授業、分かる授業のできる教師の育成を図ります。 ②授業日数の弾力化により授業時数の充実を図ります。 ③登録制度などを活用し、市民講師による、体験にもとづいた興味をもてる授業の充実を図ります。 ④学校図書館の充実とともに読書活動の充実を図ります。 ⑤小・中学校一貫教育により、9年間を通した指導の充実を図ります。 ⑥サタデークラスの実施により、児童・生徒に基礎・基本の習得を図ります。	①ICT活用推進委員会や各研修会等を実施し、授業改善を推進しました。 ②各学校経営方針にもとづき、実態に応じた授業日数を確保しました。 ③新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域の人材を活用した外部講師による授業は、オンライン等方法を工夫して実施しました。 ④学校図書館司書や学校図書館ボランティア等の活用を図りました。 ⑤各中学校区のみぎさ児童生徒像を設定し、研修等とおして指導の充実を図りました。 ⑥放課後の補習として「ステップアップクラス」や中学校3年生を対象とした受験対策として「スタディ・アシスト」を実施し、学習習慣および基礎学力の定着を図りました。（指導室）	○	指導室
13	情報化や国際化に対応した学校教育の充実	次世代 子・若	①コンピュータを活用した教育の充実や、AET（教員と協力して英語指導を行う外国人）の活用を進めます。 ②AETを各小・中学校に派遣し、英語指導・国際理解教育の充実を図ります。	①国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒に配付した一人一台の学習用端末を効果的に活用するとともに、電子黒板を整備するなどICT教育の推進を図りました。 ②AETを派遣し、教員への研修や児童・生徒への英語指導、国際理解教育の充実を図りました。	○	指導室
14	児童・生徒への健全育成教育の充実（再掲No.43）	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①心理相談員の勤務日を1日増やし、相談体制の充実を図りました。（学務課） ②青梅市いじめの防止に関する条例を一部改正するとともに、その内容を全校に周知し、いじめ防止対策を強化しました。 ③学校いじめ防止対策の年間計画にもとづき、アンケートや研修等とおして未然防止、早期発見、早期解決に努めました。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めました。 ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行いました。 ⑤新型コロナウイルス感染拡大のため、交流方法を工夫しながら実施しました。 ⑥新型コロナウイルス感染拡大のため、オンライン等方法を工夫しながら、中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実を図りました。（指導室）	○	指導室 学務課
15	学校の教育施設・設備の充実	次世代 子・若	①校舎等の非構造部材耐震化により、防災対策の充実を図ります。 ②トイレなど、学校の教育環境の整備に努めます。 ③学校のバリアフリー化に努めます。	①地震時に建物自体が倒壊しないようにする構造上の耐震化は、既に全校で完了しておりますが、ガラスの飛散防止や家具等の転倒防止の対策など、いわゆる非構造部材の耐震化に今後は取り組んでまいります。 ②トイレについては、河辺小学校、霞台小学校、若草小学校、新町中学校において大規模改修工事を、友田小学校、藤橋小学校、西中学校、泉中学校においては大規模改修の設計を実施しました。また、その他にも小規模ながら環境整備の工事を実施しております。 ③トイレ大規模改修工事に合わせ、各階に車椅子で利用できるトイレを整備しました。（施設課・教育総務課）	○	施設課 教育総務課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
16	地域と連携した開かれた学校づくり	次世代 子・若	①開かれた学校づくりを推進し、保護者・市民の教育への関心を高め、学校ボランティア活動への参加を促進し、地域の教育力を活用した学校教育の充実を図ります。 ②校庭や空き教室の活用など、開かれた学校づくりを進めます。	①新型コロナウイルス感染拡大により、地域の方や保護者に、学校現場を直接見ていただく機会やゲストティーチャー、ボランティアによる学校支援の機会は減少しましたが、オンラインでの授業配信や学校だより等の活動報告を通じて、開かれた学校を推進しました。（指導室） ②新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部休止期間がありましたが、校庭や空き教室等を活用して、放課後子ども教室を16校で実施しました。延べ参加者数は10,420人でした。（社会教育課）	○	指導室 社会教育課
17	地域の教育力の向上	次世代 子・若	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、学校ボランティア、教育ボランティア活動の充実を図ります。 ②図書館ボランティアとの協働等によるおはなし会の開催など、読書活動の充実を図ります。 ③地域の人材を発掘し、身につけた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施します。	①市内小中学校からの依頼に対し、青梅ボランティア・市民活動センターが小中学校でボランティア体験講座等を4回実施した。（市民活動推進係） ②「おはなし会」を令和4年1月と3月に実施しました。延べ参加人数は3人でした。（長淵C） ③新型コロナウイルス感染拡大により、実施回数は減少しましたが、おはなし会（中央(34回)、梅郷(2回)、新町(3回)、今井(7回)、青梅(8回)、若草小(13回)）を図書館ボランティアと協働で実施しました。（社会教育課） ③人材登録制度に個人登録が累計30人、団体での登録累計が1団体ありました。（社会教育課）	○	市民活動推進課 社会教育課
18	体験的な学習の充実	次世代 子・若	①森や河川を利用し、多様な自然体験活動の機会を提供します。 ②野鳥講座を継続して実施します。 ③伝統文化体験、工作・手芸体験、異年齢集団による活動体験等、多様な体験機会の充実を図ります。	①体験活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせ、代替として水辺の環境、生物多様性を学習できる動画を作成し、市内小学校にチラシを配布するなどして啓発を行った。（環境政策課） ①「ジュニアキャンプ教室」の開催を青少年対策委員会と予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。（小曾木・成木市民センター共催） ①青梅市青少年対策第八支会地区委員会事務局として「霞川清掃」や「ポッチャ体験会」の開催を支援しようとしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。（東青梅C） ①「梅郷ホタルウォッチング」の開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。（梅郷C） ②おうめ環境フェスタにおける事業の一つとして、野鳥観察会を実施していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。（環境政策課） ③農業・食育体験教室1講座や文化体験講座4講座、青少年リーダー育成研修会で野外活動などを実施しました。延べ参加人数は359人でした。（社会教育課） ③新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から伝統文化体験等の事業実施ができませんでした。（文化課） ③青少年対策梅郷地区委員会と共催し「梅郷子ふれあい塾」を企画し開催する予定でしたがコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。（梅郷C） ③小学生を対象とした「親子マジック教室」（12月、12人参加）を実施しました。（長淵C） ③中学生によるボランティア活動の体験を支援するジュニアキャンプ教室と市民運動会を予定したが新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。（成木C） ③「子ども料理教室教室」の開催を予定したが新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。（成木C） ③第八支会市民運動会にて中学生によるボランティア活動体験を支援しようとしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。（東青梅C）	△	農林水産課 社会教育課 市民活動推進課 環境政策課 文化課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
19	交流、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど多様な活動支援	次世代子・若	「青梅市スポーツ振興基金」による援助・表彰、市民体育大会などの実施、体育施設や運動広場、学校体育施設の開放などを行い、多様な活動を支援します。	青梅市スポーツ振興基金条例にもとづき、援助および表彰を行った。(援助10件、表彰95名)。体育施設や運動広場、学校体育施設の開放などを通して、市内団体の活動を支援しました。(スポーツ推進課) 共催展「アートビューイング西多摩2021ー開花するアート」において、出前授業を行った小学校児童の作品を展示しました。(文化課)	○	文化課 スポーツ推進課
20	ジュニアスポーツ教室の開催	次世代子・若	体を動かす楽しさを知り、スポーツへの関心を高めるために、各種スポーツの紹介、体験機会の提供を行います。	ジュニア対象のスポーツ教室の実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	—	スポーツ推進課
21	家庭教育講座の充実	次世代子・若	①その時々々の情勢にあった講座を計画し、保護者への学習機会の提供、充実を図ります。 ②子どもの体験機会の充実に向けて、親の体験講座の充実を図ります。	①家庭教育講演会を3回実施しオンライン形式で開催しました。参加者数は1回目9組、2回目、3回目延べ60人でした。(社会教育課)	○	社会教育課
22	親と子の交流事業の推進	次世代子・若	①親と子どものための体験事業の充実を図ります。 ②農業委員の指導のもと、親子農業体験会を実施します。	① 親子農業体験会について、田植え体験は緊急事態宣言下により中止となったが、稲刈り体験については令和3年10月9日に、感染対策のため前後半の2グループに分け、3年ぶりに開催することができ、大変盛況だった。(農業委員会) ② 農業・食育体験教室、文化体験講座を実施しました。(No.18体験的な学習の充実と重複)(社会教育課)	○	社会教育課 農業委員会
23	青梅市青少年健全育成団体登録事業	子・若	登録された青少年健全育成団体の情報を市民に提供します。また、市民センター体育館等の各施設使用料の免除制度を適用させることにより、青少年が成長段階に応じて様々な体験活動ができる環境の整備を図ります。	青少年健全育成団体の登録を適正に実施し、計94団体(会員数計2,410名)の登録を行いました。	○	子ども家庭支援課

(3) 子どもの人権の尊重

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
24	児童の人権に関する理解の普及・啓発	次世代 子・若	①ポスターチラシの配布等の普及・啓発活動を継続します。 ②教員対象の研修会、情報の提供および広報活動の充実を図ります。 ③広報や子育てモバイルなどを活用し、市民に対する情報提供および広報の充実を図ります。	①児童虐待防止等、児童の人権に関する啓発用ポスターの掲示および、幼稚園、保育園、小学校、中学校を通じて配布し、児童・生徒および保護者へ周知しました。 (子ども家庭支援課) ②東京都の人権尊重教育推進校の指定を受けた西中学校の研究成果をリーフレットにまとめ、研究発表を行うとともに、全校で共有し理解の推進を図りました。(指導室) ③広報や市ホームページ、子育てアプリを利用し、広く情報提供しました。(子ども家庭支援課)	○	子ども家庭支援課 指導室
25	個性を認め合う人権意識の醸成	次世代 子・若	①人権を大切にすることを養う教育の徹底を図ります。 ②児童虐待やいじめ、差別などの問題への取組を通して、人権教育を進めます。 ③人権の花運動を通じ、人権尊重思想の普及・啓発を図ります。	①各学校において、人権教育全体計画および年間指導計画を踏まえ計画的に人権教育を推進しました。 ②都や市が開催する人権教育に関する研修に教職員を参加させるとともに、各学校で年間3回以上のいじめに関する授業や研修を実施しました。(指導室) ③人権の花運動を通じて思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうよう啓発を図りました。 実施校：第二小学校、第四小学校(市民安全課)	○	指導室 市民安全課
26	子どもの視点に立った取組	次世代 子・若	子ども議会やアンケート調査など、様々な事業において子どもの視点・意見を反映する取組を進めます。	「子ども議会」については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、「2032年未来の青梅」をテーマとした中学生によるオンライン交流会を開催した。中学生同士の議論を踏まえ、自分たちの意見について市に提言を行った。(企画政策課)	○	企画政策課 子ども家庭支援課
27	子どもの相談体制の充実	次世代 子・若	①教育相談所の心理相談員による来所相談や電話相談を実施します。 ②子どもの相談窓口を充実し、相談しやすい体制づくりを進めます。	①教育相談所で来所相談を579件、電話相談を40件実施しました。(学務課) ②子ども家庭支援センターの保健師、子ども家庭支援ワーカーを対象とした研修会に参加し、相談体制の充実を図りました。(子ども家庭支援課)	○	学務課 指導室 子ども家庭支援課
28	青少年専門相談の充実	次世代 子・若	青少年のかかえる多様な問題に関係機関へつなげることにより、その問題に関する相談の充実を図ります。	相談内容を確認し、東京都教育相談センター等、関係諸機関へつなぎました。(学務課) 各種相談場所の連絡先を掲載した青少年健全育成チラシを作成し、小中学校の各児童生徒や関係行政機関への配布、および自治会回覧等により周知した。(子ども家庭支援課)	○	学務課 指導室 子ども家庭支援課
29	スクールカウンセラーの配置	次世代 子・若	全中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図ります。	小学校5年生、中学校1年生全員に対する面接を行うとともに、関係機関と連携し、教育相談の充実を図りました。	○	指導室
30	スクールソーシャルワーカー活用事業の導入	次世代 子・若	市専属のスクールソーシャルワーカーの配置により教育相談体制の充実を図ります。	昨年度からの継続を含め、23件の相談に対応しました。(指導室)	○	指導室
31	いじめ、不登校、児童虐待などへの取組	次世代 子・若	①教員研修や教育相談活動の充実を図るとともに、教育相談所と連携し、学校への心理相談員の派遣やスクールカウンセラーの配置を充実し、いじめや不登校などの問題に取り組めます。 ②要保護児童対策地域協議会を中心として、各関係機関が連携した取組を進めます。 ③小・中学校一貫教育を通して、小学校から中学校へ進学する際に、1人ひとりの個性を活かした対応を図ることで安心の向上に努めます。	①学校の要請により心理相談員の派遣を行いました。(学務課) ①全小・中学校へのスクールカウンセラーの配置を継続し、校内委員会等で助言してもらうなどしました。(指導室) ②要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回(書面会議)、実務者会議を4回(書面会議3回)個別ケース検討会議を33回実施しました。 また、相談体制強化の一環として、テレビ会議システムを利用し、児童相談所との迅速な情報共有を行いました。(子ども家庭支援課) ③小・中学校一貫教育を推進していく中で、小学校から中学校への引き継ぎが円滑に行えるようにしました。(指導室)	○	学務課 指導室 子ども家庭支援課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
32	適応指導教室の設置（ふれあい学級）（再掲 No. 127）	次世代 子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、学校復帰を目指した指導や、適応指導教室への入級を推進します。 ②適応指導教室に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・適応指導教室等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行いました。 ②適応指導教室の経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行いました。（指導室）	○	指導室
33	教育相談研修の充実	次世代 子・若	教育相談所と連携し、教員研修の充実を図ります。	青梅市学校教育相談推進協議会を学校教育相談研修と合わせて年間1回実施し、教育相談研修の充実を図りました。（指導室）	○	指導室
34	児童の健全育成	次世代 子・若	①青少年対策各地区委員会の事業を支援していきます。 ②関係各課、機関等との連携を図り、性の逸脱行為や少年非行等の防止の支援を行います。	①青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に対し交付し、各地区委員会が実施する事業を支援しました。（子ども家庭支援課） ①青少年対策各地区委員会が行う事業を事務局として支援しました。（各市民センター） ①②青少年非行化防止チラシの作成・配布に対する支援をしました。なお、「社会を明るくする運動」講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。（長淵C） ①②「ジャガイモ掘り体験」を支援しようとしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。（河辺C） ①②「親子さつまいも掘り体験教室」を支援しました（新町C） ①②青少年対策青梅地区委員会を事務局として支援した。なお、青少年の健全育成の推進を目的とした青梅っ子わいわいフェスタ等の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止とした。（青梅C） ②地域の「防犯パトロール」等を小中PTAや安全を守る会と連携し、事務局として支援しました。（梅郷C） ①②青少年対策第八支会地区委員会事務局として、青少年健全育成チラシの作成・配布に対する支援をしました。なお、事業に関しては支援しようとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となりました。（東青梅C） ② 青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回書面開催し、関係機関等の情報交換を行いました。（子ども家庭支援課）	△	子ども家庭支援課 市民活動推進課
35	青少年問題協議会等の開催	子・若	青梅市青少年健全育成基本方針を策定、問題青少年の保護および指導ならびに矯正に関し協議、また、委員相互が情報交換することにより、青少年健全育成の推進を図ります。	青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回書面開催し、関係機関等の情報交換を行いました。 コロナウイルス感染症対策のため多くの事業が中止等となる中、夏・冬・春の各休み前のしおりや青少年健全育成チラシを作成し、配布しました。 青少年健全育成環境整備対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼しました。	△	子ども家庭支援課
36	子ども・若者育成支援強調月間等における周知啓発事業	子・若	子ども・若者育成支援強調月間、青少年の非行・被害防止全国強調月間において、周知・啓発を行い市民が理解を深め、さらに関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、青少年の規範意識の醸成および有害環境への適切な対応を図る取組を集中的に実施することにより、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	非行・被害防止全国強化月間（7月）と子ども・若者育成支援強調月間（11月）では、広報等で市民へ周知するとともに、横断幕の掲出（市内3か所）を行いました。 また、青少年健全育成環境整備への対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼しました。	○	子ども家庭支援課

(4) 子どもの地域での活動を応援するまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
37	地域や社会に関する学習機会の充実	次世代 子・若	①学校教育や社会教育を通して、子どもや女性、市民の権利や、市民の義務などについての学習を充実します。 ②地域での体験学習機会を増やし、学校・家庭・地域が一体となった教育、地域の将来を担う人材の育成を行います。 ③子ども会活動の支援を行います。	①各小中学校の人権教育推進委員会を中心に、5回の研修会を実施し、人権についての指導方法について改善を図りました。 ②小学5年生を対象に、市内御岳エリアを中心に、地域の自然や伝統・文化等について学習する「青梅学」を実施しました。例年各校で実施している地域の人材をゲストティーチャーとして迎えて行う体験的な学習については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインを活用するなど工夫して実施しました。(指導室) ②「柔道寒稽古」の開催を支援した。(梅郷C) ② 黒沢清掃活動に向けて、小・中学生による「ジュニアリーダー講習会」を実施した。(小曾木C) ②小学生を対象とした「親子マジック教室」(12月、12人参加)を実施しました。(長淵C) ②「ジュニアキャンプ教室」の開催を成木市民センターで予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。(成木・小曾木市民センター共催) ②学生によるボランティア活動の体験を予定したジュニアキャンプ教室と市民運動会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。(成木C) ②第八支会自治会長による「子どもたちに地域の歴史と文化を伝える会」(小中学校への出張授業・資料提供)の開催を支援しました。(四小・霞台小・霞台中・吹上中)(東青梅C) ②親子で参加できるジュニアリーダー講習会「Challenge!!スボゴミ」の実施を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。 ③子ども会の事業に対して、地域での体験学習機会を支援するため青少年健全育成商品の貸出しをできるように整備しました。(社会教育課)	△	指導室 社会教育課 市民活動推進課
38	地域コミュニティ活動への子どもの参画促進	次世代 子・若	①清掃やリサイクルなどの地域維持活動やイベント、福祉ボランティア活動などへの子どもの参画機会の充実を図ります。 ②子どもへの広報を拡充し、子どもの自主的な参画を促進します。	NPO法人が実施した「子どもふれあいフェスタ2021」へ補助金を交付し、文化交流センター等の会場およびネット配信により事業を実施しました(参加人数221人、動画視聴回数417回)。(子ども家庭支援課) 毎年「子どもふれあいフェスタ」を支援していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により分散開催による事業に変更したため、支援する場面がありませんでした。(社会教育課)	○	子ども家庭支援課 社会教育課
39	子どもの祭り・イベントづくり	次世代 子・若	①祭りやイベントに、子どもが参加できる機会の充実を図ります。 ②青梅市全体で子どもと大人が仲良くふれあえるような楽しいイベントを検討します。	①生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2021～の開催を目指し準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。(社会教育課) ①②「長淵地区文化祭」(11月、約260人参加)は、作品展示のみの開催として実施しました。(長淵C) ①②文化祭、地域のふれあい祭等、市民運動会、親子ふれあい綱引き大会は実施できたものもあるが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした事業がある。(各市民センター) ・青少年対策青梅地区委員会青梅っ子わいわいフェスタ等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした(青梅C) ・ホテルウォッチングは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした(梅郷C) ・成木地区大盆踊りは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。(成木C) ・第八支会ハイキングは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。(東青梅C) ・市民ウォーキングは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。(今井C) ②NPO法人が実施した「子どもふれあいフェスタ2021」へ補助金を交付し、文化交流センター等の会場およびネット配信により事業を実施しました(参加人数221人、動画視聴回数417回)。(子ども家庭支援課)	△	社会教育課 市民活動推進課 子ども家庭支援課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
40	子どもの居場所づくり(再掲No.90)	次世代 子・若	子育て支援事業で、放課後・週末などの児童の居場所づくりを目指し、拡充を進めます。	<p>項目名：各市民センターにおける子育て支援事業利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,815</td> <td>441</td> <td>1,626</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施予定251回のうち32回を中止し、再開の際は、利用人数の制限をして実施しました。 ※ 年度未現在</p> <p>居場所として、市民センター等9か所における子育て支援事業や、子育て支援センター等18か所で子育てひろば事業を実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数の制限など感染防止対策を講じて実施しました。 (子ども家庭支援課) 子育て支援事業の実施に際し、会場の提供、物品の保管場所の提供をした。(市民活動推進課)</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,815	441	1,626				○	市民活動推進課 子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
3,815	441	1,626																
41	中高生の居場所づくり	次世代 子・若	①総合体育館の個人開放事業を継続します。 ②中高生の居場所づくりに取り組みます。	①個人開放事業を継続して実施しました。(スポーツ推進課) ②子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、小学生以上の利用を一時中止していましたが、利用人数の制限等の感染対策をして再開しました。(子ども家庭支援課)	○	スポーツ推進課 社会教育課 子ども家庭支援課												
42	職業意識や能力の向上の支援	次世代 子・若	①中高生の職業体験機会の充実などにより、自分で自分の進路を選択する力を身につけるキャリア教育の充実を図ります。 ②関係機関や団体と連携し、高校生や若者の職業能力向上の機会の充実を図ります。	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年、中学校2年生が実施している職場体験学習の多くが中止となりましたが、学習指導要領に従い、授業においてキャリア教育を実施しました。(指導室) ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため若年者向けの就職面接会は中止となった。(商工観光課)	△	商工観光課 指導室												

(5) 子どもの健全な成長への支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																								
43	児童・生徒への健全育成教育の充実(再掲No.14)	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①心理相談員の勤務日を1日増やし、相談体制の充実を図りました。(学務課) ②青梅市いじめの防止に関する条例を一部改正するとともに、その内容を全校に周知し、いじめ防止対策を強化しました。 ③学校いじめ防止対策の年間計画にもとづき、アンケートや研修等とおして未然防止、早期発見、早期解決に努めました。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めました。 ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行いました。 ⑤新型コロナウイルス感染拡大のため、交流方法を工夫しながら実施しました。 ⑥新型コロナウイルス感染拡大のため、オンライン等方法を工夫しながら、中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実を図りました。(指導室)	○	指導室 学務課																								
44	若者の自立等支援事業→ひきこもり等支援事業	子・若	社会生活を円滑に営む上での困難を有するひきこもり等の状態にある若者等に対して、個別に働きかけ、具体的な支援を実施し自立につなげます。	<p>項目名：講演会参加者数(※年度末現在) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>—</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会および個別相談会を中止とした。</p> <p>項目名：個別相談会延べ相談件数 単位：人 (※年度未現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37</td> <td>—</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	29	—	23				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	37	—	13				△	生活福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
29	—	23																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
37	—	13																												

2 子育ての喜びを感じられるまちづくり

(1) 男女がともに子育ての喜びを感じられるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
45	子育てにやさしい企業・地域の実現	次世代	①関係機関と連携し、市民、事業主などの意識改革のための広報・啓発、情報提供を行います。 ②育児・介護休業制度などの普及・啓発、短時間勤務・フレックスタイム制などの普及を促進します。 ③企業や店舗と協力し子育てにやさしい店や企業づくりへの支援を検討します。	①男女平等参画社会の実現の観点から、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（10人受講）を実施した。（市民活動推進課） ③子ども食堂推進事業として、2団体に補助金の交付をいたしました。（子ども家庭支援課）	○	市民活動推進課 商工観光課 子ども家庭支援課
46	女性の就労の支援	次世代	①女性の再雇用や就労、起業を支援する講座や講演会の充実を図ります。 ②働く女性の職業能力開発および就業意欲の向上のため、パソコン教室など学習機会の充実を図ります。	①女性の再就職支援パソコン講座（11月、全4回、延24人受講）を開催した。（市民活動推進課、商工観光課共催） ②働く女性のスキルアップパソコン講座（12人受講）を開催した。（市民活動推進課、商工観光課共催）	○	商工観光課 市民活動推進課
47	家事・育児・家庭教育・地域教育への男性の参画	次世代	男女共同による家事・育児への参加促進に向けて、講演会・セミナーなどにより、市民・企業への啓発を行います。	男女平等参画社会の実現の観点から、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（10人受講）を実施した。（市民活動推進課）	○	市民活動推進課
48	仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	次世代	ワーク・ライフ・バランス実現のため、企業・市民との協働により、仕事と家庭の両立を支援する様々な取組を行うとともに、制度の周知、啓もうを図ります。	青梅商工会議所と連携して、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（10人受講）を実施した。（市民活動推進課）	○	市民活動推進課 商工観光課 子ども家庭支援課
49	次代の親の育成（再掲No. 80）	次世代 子・若	①男女がともに子育てや教育に参加し、家族のパートナーシップの強化を促すよう、講座や情報紙などによる啓発を行います。 ②子どもが男女とも家事を手伝うよう、子ども料理教室や家事分担カレンダーの作成・配布、通学合宿の実施などを進めます。	①青梅商工会議所と連携して、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（10人受講）を実施した。（市民活動推進課） ②「子ども料理教室」で役割分担をしながらの料理作りを予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。（成木C） ②農業食育体験教室を開催し、料理教室や味噌の蔵出し体験を実施しました。（社会教育課）	△	市民活動推進課 社会教育課
50	男女平等セミナーの開催	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、セミナーを開催します。	予定した7講座のうち、2講座を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	△	市民活動推進課
51	青梅市男女平等推進計画の推進	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、各課の実施事業の推進を図るとともに、進捗よく状況報告書を作成し、各事業の内容を確認します。	第六次青梅市男女平等推進計画の推進に当たり、各課の実施事業の進捗よく状況をまとめ、実施事業に対する青梅市男女平等推進計画懇談会からの評価結果を取りまとめた。（市民活動推進課）	○	市民活動推進課

(2) 地域・世代間交流を進めるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
52	地域・世代間交流事業の推進	次世代 子・若	<p>①子育て支援施設や学校・保育所など様々な場で、子育て中の父母やNPO法人などの協力を得て、小中高生と乳幼児との交流に取り組みます。</p> <p>②昔からの遊びや知恵を伝承する取組など高齢者との世代間交流の実施を進めます。</p> <p>③自治会や子ども会など地域との協働事業に取り組みます。</p> <p>④運動会、盆踊り、文化祭などの事業をもとに、自治会や子ども会など地域との交流の推進に努めます。</p> <p>⑤PTAやNPO法人など地域団体との共催講座の実施を進めます。</p>	<p>①子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高校生のボランティアの受入れを中止しました。</p> <p>②子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアによるけん玉等の昔からの遊びの教室の中止や、子育てひろばで実施する行事に高齢者が参加する等の世代間交流を中止しました。 (子ども家庭支援課)</p> <p>③長淵地区文化祭(11月、約260人参加)は、作品展示のみの開催として実施しました。(長淵C)</p> <p>④小曾木地区文化祭を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。(小曾木C)</p> <p>④青少年対策第10支会地区委員会の実施する農業・食育(ジャガイモ掘り)体験事業を支援する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。(河辺C)</p> <p>④青少年対策新町地区委員会の実施する農業・食育(さつまいも掘り)体験事業を支援した。(新町C)</p> <p>④大門市民センター文化展を実施した。(大門C)</p> <p>④市民運動会、梅郷地区文化祭で地域との交流の推進を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。(梅郷C)</p> <p>⑤青少年対策梅郷地区委員会と三田地区委員会共同で講演会を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。(梅郷C・沢井C)</p> <p>⑤NPO法人を講師として、市内の中学校2校に対してデートDV講座を開催した。(市民活動推進課)</p>	△	子ども家庭支援課 市民活動推進課
53	青少年健全育成・青少年対策事業	子・若	<p>青少年対策各地区委員会が実施する各種事業について補助金を交付することにより、当該事業の適正な運営を推進し、さらに青少年が地域活動に参加する機会や場を提供するとともに、親子のふれあい、異年齢交流や地域交流を通じて、地域社会全体で青少年の健全育成を図ります。</p>	<p>青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に対し交付し、各地区委員会が実施する事業を支援しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により、親子ふれあい事業(ポッチャ大会)や各地区での予選等は中止となりましたが、次年度の開催に向けて、確実な実施を目指します。</p>	△	子ども家庭支援課

(3) 地域の子育ての場とネットワークづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
54	地域活動の活性化と地域、学校、行政が協働した取組の推進	次世代 子・若	①自治会、子ども会などの地域活動を支援するとともに、地域での活動の情報収集とその発信に努めます。 ②地域、学校、行政が一体となったイベントなどの取組を進めます。 ③子育てサポーター講習、地域ボランティア講習などを実施し、市民ボランティアの育成を図るとともに、ボランティア市民活動などと連携した活用を進めます。	①各支会事業、自治会などの活動を通し情報収集に努めるとともに、センターだよりを年12回発行し、センター事業や支会行事の情報提供を行った。また、小中学校の学校だよりの配布を行った。(各市民センター) ②市民センター文化祭と第八支会ささえあいフェスティバルを同時開催し、これに学校等の協力をいただき、地区内の小中学生や保育園児の作品展示を行おうと企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。(東青梅C) ③梅郷地区文化祭を開催し地域の自治会、学校とともにセンターが一体となって作品展示を行おうと企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。(梅郷C)	△	子ども家庭支援課 市民活動推進課
55	地域住民の主体的活動の支援	次世代 子・若	①地域での子育て支援活動の促進に向けて、市民センター、自治会館、商店街の空き店舗、高齢者福祉施設などを活用し、乳幼児から高齢者まで気軽に交流できるサロン(広場)の設置など地域支援を進めます。 ②子育てサークル等のネットワークの育成を図ります。	①長淵地区文化祭(11月、約260人参加)は、作品展示のみの開催として実施しました。(長淵C) ②市民センターで文化祭を開催し、多世代が交流できる場の提供を実施してきたが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。 ③子育て支援センター等で子育てサークルの情報を掲示しました。(子ども家庭支援課)	△	商工観光課 子ども家庭支援課 高齢者支援課 市民活動推進課
56	青少年リーダーの育成	次世代 子・若	小学生から高校生までの異年齢集団による様々な体験活動を通じ、子ども会・地域活動における青少年リーダーの育成を図ります。	全5回の日程で、青少年リーダー育成研修会を実施しました。(延べ参加者134人)(社会教育課)	○	社会教育課
57	地域のボランティアの育成	次世代 子・若	①各施設を中心に、地域教育を協働できる体制づくりを検討します。 ②青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、地域のボランティアの育成に努めます。	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、市民活動団体向けの協働の研修(8人参加)を実施した。 ②第八支会が実施する「ささえあいフェスティバル」に多くのボランティア団体の参加を呼び掛けようとしたが新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。(東青梅C) ③社会福祉協議会で運営する青梅ボランティア・市民活動センターにおいて随時ボランティアの相談を受け付けており、ボランティア情報希望、ボランティア希望の相談を187件受け付けた。	△	市民活動推進課
58	子育てボランティアの育成	次世代 子・若	子育て支援センターなどの親子ふれあい事業やNPO法人の活動支援などを通じて、市民相互の子育て支援グループの育成を図ります。	子どもふれあいフェスタ2021を通じて、子育て支援グループとの連携を深め、活動の支援を図りました。(子ども家庭支援課) 青梅ボランティア・市民活動センターを支援することで、子育てに関するボランティアの支援につなげた。(市民活動推進課)	○	子ども家庭支援課 市民活動推進課

3 全ての子育て家庭を支援する地域づくり

(1) 子育て相談・情報提供体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
59	保育所相談体制の充実	次世代 子・若	地域ごとの相談体制の確立を目指し、相談体制の周知、職員の適正な配置と職員研修の充実による認識の向上に努め、内容の充実を図ります。	畑中保育園を中心に、13保育所で子育てひろば事業を実施し、相談体制の充実を図りました。	○	子ども家庭支援課
60	相談サービスネットワークの整備	次世代 子・若	子ども家庭支援センターを拠点とし、子育て支援センター、子育てひろばなどのネットワークを通じて子育て相談体制の充実を図ります。	子ども家庭支援センターや子育てひろばで相談を実施しました。また、子育てひろば連絡会によるアンケートを実施し、情報交換等を行いました。	○	子ども家庭支援課
61	指導・相談体制の充実	次世代 子・若	①育児不安への対応などを中心に、個別相談の実施を充実します。 ②いじめや不登校の相談など教育相談の充実を図ります。	①子ども家庭支援センターで保育所・学校など関係機関と連携して個別相談（相談件数1,251件）を実施しました。（子ども家庭支援課） ②子ども発達相談では、臨床心理士が個別相談を実施し母親の不安解消に努めました。（健康課） ③青梅市いじめの防止に関する条例にもとづき、いじめに関する会議を開催し、組織体制の連携、強化等について協議しました。また、教育相談所や登校支援室、適応指導教室等が連携し、登校支援や不登校児童・生徒の受け入れを行うなど、早期対応に努めました。（指導室）	○	子ども家庭支援課 健康課 指導室
62	子育て支援講座の充実	次世代 子・若	子育てを支援する講座の充実を図ります。	0歳児を初めて育てている母親を対象にした育児講座を、延べ16回実施しました。また、未就学児と保護者を対象とした子育て支援に関する講座「親子スキンシップ教室」を9か所8回ずつ実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数の制限など感染防止対策を講じて実施しました。	○	子ども家庭支援課
63	親子サロン・赤ちゃんサロンの充実	次世代	子どもを遊ばせながら、親同士の交流や子育て相談の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。	—	子ども家庭支援課
64	子育てひろば事業などの活用	次世代 子・若	絵本の読み聞かせなどを通じ、絵本と出会う機会づくりと親子の交流を進めます。	乳幼児の3・4ヶ月検診時において、赤ちゃん向け絵本の紹介および図書館利用のPRを行う事業については、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった。 （社会教育課） 子育て支援センター等において絵本の読み聞かせを実施しました。また、「こんにちは赤ちゃん事業」として行う生後4ヶ月までの乳児家庭への民生委員の全戸訪問の際に、ブックスタート事業として絵本の配布を実施しました。（子ども家庭支援課）	△	子ども家庭支援課 社会教育課 健康課
65	こんにちは赤ちゃん事業の充実	次世代 子・若	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握をすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭を対象として、家庭訪問を行いました。（訪問対象数 607件、訪問数 586件、転出等21件）	○	子ども家庭支援課

(2) 子育て支援サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
66	幼稚園、小学校の連携の推進	次世代	幼稚園と小学校との連携に向けて、各幼稚園への情報提供を行います。	各幼稚園へ情報提供を行っております。	○	子育て推進課
67	子育て世帯への支援	次世代	おむつの無料回収を行い、子育て世帯を支援します。	多くの方に無料回収を利用していただけるよう、ごみ収集カレンダーや広報おうめ等で周知を図りました。	○	清掃リサイクル課

(3) 地域における切れ目のない妊娠・出産体制の強化

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																																				
68	子育てにやさしいまちづくり(赤ちゃんふらっと事業)の推進		外出時のおむつ替えや授乳場所の確保など、子育てにやさしいまちづくりを進めます。	<p>項目名：赤ちゃんふらっと事業実施施設件数 単位：施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 整備の促進を図っていきます。(子ども家庭支援課)</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	6	6	6				○	商工観光課 子ども家庭支援課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
6	6	6																																								
69	子育て教室の開催(母親学級、離乳食・幼児食教室)		妊娠・出産・育児について学ぶ講座の充実を図ります。離乳食・むし歯予防等についての講座等を開催します。	<p>項目名：母親(両親)学級参加者数 単位：人(延)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>336</td> <td>224</td> <td>290</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 安心して出産・子育ての準備ができるように、抱っこの仕方やお風呂入れの仕方等の実習を実施しながら、親同士の交流を図りました。</p> <p>項目名：離乳食教室参加者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>341</td> <td>157</td> <td>114</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、保護者のみの参加も可としたため、令和3年度からの参加者数は、対象となる児の人数で計上しています(今までの計上方法では、233人)</p> <p>項目名：幼児食教室参加者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38</td> <td>5</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、保護者のみの参加も可としたため、令和3年度からの参加者数は、対象となる児の人数で計上しています(今までの計上方法では、4人)</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	336	224	290				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	341	157	114				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	38	5	4				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
336	224	290																																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
341	157	114																																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
38	5	4																																								

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
70	乳幼児医療費助成の実施		義務教育就学前の乳幼児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>154</td> <td>116</td> <td>143</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 0歳から小学校入学前までの乳幼児に対し、医療費の自己負担分の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	154	116	143				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
154	116	143																
71	子どもや母親、妊婦の健康の確保		①母親学級（母性科・育児科）・両親学級の開催、電話相談等により育児に対する不安の解消を図り、良いお産の促進を図ります。 ②母子手帳、啓発紙・冊子の発行・配布により、子どもの事故の防止を図ります。 ③相談事業やグループワークにより、母親のストレス防止や児童虐待の発生を予防します。	項目名：母親(両親)学級参加者数 単位：人(延) <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>336</td> <td>224</td> <td>290</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 母親学級を通じて、講師である保健師、歯科衛生士や管理栄養士の信頼関係を築くことによって相談しやすい環境をつくっています。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	336	224	290				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
336	224	290																
			項目名：母子手帳発行数 単位：冊 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>692</td> <td>629</td> <td>565</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 母子健康手帳を渡す際に、保健師と面談を行い、妊娠期間から出産にかけて注意すべきことや各種サービスの紹介をしています。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	692	629	565						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
692	629	565																
			項目名：ステップクラスⅠ(乳児)の参加組数 単位：組(延) <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73</td> <td>98</td> <td>81</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	73	98	81						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
73	98	81																
			項目名：ステップクラスⅡ(幼児)の参加組数 単位：組(延) <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>84</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 乳児ステップクラスは、育児に不安をもつお母様を支援し、幼児ステップクラスは、集団生活が苦手な幼児の体験の場としてテーマを変えながら参加しやすいように努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	100	84	72						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
100	84	72																
			項目名：10代での妊娠届出数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>3</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 行政サービス等の情報提供を実施し、信頼関係を構築しながら必要な支援に努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	7	3	5						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
7	3	5																

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
72	妊産婦健康診査の実施と産婦対策の推進		妊産婦を対象に、健康診査を実施します。	項目名：妊婦健康診査実施人数 単位：人(延) <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,996</td> <td>8,059</td> <td>7,777</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 都内の各医療機関に妊婦健康診査14回、超音波検査1回、子宮頸がん検診1回を委託して、妊婦の健康管理に努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	8,996	8,059	7,777				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
8,996	8,059	7,777																
73	妊婦歯科健康診査の実施		妊婦を対象に、歯科健康診査を実施します。	項目名：妊婦歯科健康診査実施人数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73</td> <td>39</td> <td>56</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 妊婦の歯科疾患の早期発見・早期治療を図るとともに、歯磨き指導も実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	73	39	56				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
73	39	56																
74	乳幼児健康相談の実施、母と子の保健指導(健康指導)の実施		乳幼児の発育・離乳食・むし歯予防などについて、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、心理相談員による健康相談を実施します。	項目名：乳幼児健康相談の相談人数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>166</td> <td>64</td> <td>147</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 各専門職が、発育状況を確認しながら育児指導、助言を行い母親の不安解消に努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	166	64	147				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
166	64	147																
75	妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室の実施		妊婦食・離乳食・幼児食の栄養についての講義と調理実習または試食を行います。	項目名：妊婦食教室参加人数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習・試食は中止し、講義・調理デモを行っています。妊婦食教室は、妊婦という特性上、予約されていても当日の体調等で、キャンセルされる方の数の方が多い回もありました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5	3	2				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
5	3	2																

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																																																																								
76	乳幼児健康診査の実施		①3か月児、6か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、健康診査を実施します。 ②未受診児に対し、フォローを行います。	<p>項目名：3～4か月児健康診査受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>691</td> <td>553</td> <td>606</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：6～7か月児健康診査受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>626</td> <td>636</td> <td>557</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：9～10か月児健康診査受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>618</td> <td>612</td> <td>553</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：1歳6か月児健康診査受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>669</td> <td>755</td> <td>667</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：3歳児健康診査受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>770</td> <td>809</td> <td>689</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>各種健康診査を実施することによって、乳幼児の健康状態を把握し必要な乳幼児には経過観察健康診査等を紹介しました。</p> <p>項目名：乳幼児健康診査未受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78</td> <td>128</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>未受診者について、市外転出等を確認しながら、電話や訪問等により現認や健康状態を把握しました。なお、市内居住者については、全数把握しました。</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	691	553	606				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	626	636	557				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	618	612	553				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	669	755	667				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	770	809	689				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	78	128	50				○	健康課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
691	553	606																																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
626	636	557																																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
618	612	553																																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
669	755	667																																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
770	809	689																																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
78	128	50																																																																												
77	幼児体操教室の開催		4歳から6歳児を対象に、ボールやフープなどの手具を使った運動やゲームを行います。	<p>項目名：延べ参加人数 単位：組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>266</td> <td>0</td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催できなかったが、令和3年度は規模は縮小しつつも、感染対策を行い実施した。</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	266	0	35				○	スポーツ推進課																																																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
266	0	35																																																																												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																																				
78	幼児歯科相談の実施		2歳児と2歳6か月児を対象に、 歯科健康教育・歯科健康診査・予 防処置を実施します。	<p>項目名：歯科健康教育実施人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td>715</td> <td>657</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 定期的に歯科健康教育をすることで、幼児の口腔の健全な発育発達を促しました。また、保護者の歯科保健に関する不安や悩みに答えました。</p> <p>項目名：歯科健康診査実施人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>702</td> <td>721</td> <td>657</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 1歳6か月児歯科健診から継続的に健診を受けることにより、要観察の幼児のフォローも実施しました。</p> <p>項目名：予防処置実施人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>697</td> <td>713</td> <td>654</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 2歳児と2歳6か月児を対象に、歯ブラシゲル法でフッ化物塗布を実施しました。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	700	715	657				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	702	721	657				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	697	713	654				○	健康課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
700	715	657																																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
702	721	657																																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
697	713	654																																								
79	幼児歯科健康診査の実施		1歳6か月児、3歳児を対象に、 歯科健康診査を実施します。	<p>項目名：1歳6か月児歯科健康診査 実施人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>668</td> <td>753</td> <td>666</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：3歳児歯科健康診査実施人 数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>767</td> <td>808</td> <td>688</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 1歳6か月児健診・3歳児健診と一緒にいき、歯科疾患の早期発見・早期治療を図ることに努めました。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	668	753	666				R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	767	808	688				○	健康課												
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
668	753	666																																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
767	808	688																																								
80	次代の親の育成 (再掲No. 49)	次世代 子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼 児とのふれあいの機会づくりを充 実させます。	<p>項目名：子育て支援センターでの高 校生ボランティア受入延人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元 年度</th> <th>R2年 度</th> <th>R3年 度</th> <th>R4年 度</th> <th>R5年 度</th> <th>R6年 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>0</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在 コロナ禍であるため、受け入れ人数の調整や感染症対策を講じて、受入れの再開をしました。</p>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	25	0	4				△	子ども家庭支 援課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
25	0	4																																								

(4) 施設職員に対する支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
81	研修および人材確保等に対する支援の実施	子・若	教諭・保育士等の質を向上させるための研修や人材確保等に対する支援に努めます。	項目名：情報提供対象施設数 単位：園 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46</td> <td>47</td> <td>47</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 保育園32園、幼稚園5園、幼児園1園、小規模保育3園、認定こども園2園、家庭的保育4人に対し、各種研修、就職相談会、研修生の派遣等の支援を実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	46	47	47				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
46	47	47																

(5) 放課後等の居場所づくりへの支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
82	地域居場所づくり	子・若	①子育て支援センターにおいて乳幼児の居場所づくりを支援します。 ②各市民センターや青梅市文化交流センターなど地域社会の中で、放課後に子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	①子育て支援センターにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館をしましたが、利用人数の制限などの感染対策を行い再開いたしました。 また、子育て支援センターの和室を利用し、利用人数の制限などの感染対策を行い子育て支援講座を実施しました。（子ども家庭支援課） ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学生の利用を中止しました。（子ども家庭支援課） ②子育て広場の会場提供等の協力をした。（市民活動推進課） ②青梅市文化交流センターにて、あそびばコーディネーターが主催して、「春休みだよ！たまぐーであそぼうよ！」事業を開催し、地域の小学生の春休みの居場所として実施することができた。（社会教育課）	○	子ども家庭支援課 社会教育課 市民活動推進課

4 働きながら子どもを育てる家庭への支援の充実

(1) 教育・保育サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
83	保育所の情報提供	次世代	保護者に対し、保育所の情報提供を充実、強化します。	保育園利用についての保護者向けパンフレットを作製しました。(7月に当年度改訂版300部、11月に次年度更新版2,000部)	○	子育て推進課
84	夜間保育事業の促進	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	夜間保育については、今のところニーズがないため実施していません。	—	子育て推進課
85	子育て短期支援事業(トワイライトステイ)の検討	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	現段階では、延長保育やショートステイ事業でニーズに対応できているため、今後の動向を見ながら検討してまいります。(子育て推進課)	—	子育て推進課 子ども家庭支援課

(2) 産後の休業および育児休業後の特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
86	子ども家庭支援センター事業の充実		子ども家庭支援センター事業については、組織の強化を含めて拡充し、総合相談、情報提供などを進めます。	項目名：子ども家庭支援センター相談件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,152</td> <td>1,161</td> <td>1,251</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 保健師を増員して組織の強化を図り、総合相談や情報提供等に対応しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,152	1,161	1,251				○	子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
1,152	1,161	1,251																

(3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立

①仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
87	就学前教育の充実と小学校との連携(再掲No.11)		保育所・幼稚園と小学校が連携し、乳幼児期から学齢期への円滑な移行を図ります。	項目名：小学校の見学 単位：回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>0</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校紹介DVDの送付等方法を工夫しながら交流活動を行いました。また保育所・幼稚園と小学校で「就学までに育てほしい姿」を共有することで、就学前と小学校との連携に努めました。(指導室)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	16	0	16				○	指導室 子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
16	0	16																
88	放課後子ども教室の拡充		地域で子どもたちを育む環境づくりと子どもたちの安心・安全な活動拠点づくりを推進します。	項目名：開設数 単位：箇所 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 東小を除く16校すべてで実施しています。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	16	16	16				○	社会教育課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
16	16	16																

②仕事と子育ての両立のための基盤整備

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																								
89	多世代・異年齢交流事業の推進		子どもたちが様々な人と出会い、ふれあうことのできる多世代・異年齢交流を推進します。	<p>項目名：子育て支援センターでの大学生インターンシップ受入延人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：子育て支援センターでの高校生ボランティア受入延人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>0</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>コロナ禍であるため、受入れ人数の調整や感染症対策を講じて、大学生インターンシップと高校生ボランティアの受入れを再開しました。</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	10	0	1				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	25	0	4				△	子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
10	0	1																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
25	0	4																												
90	子どもの居場所づくり(再掲No.40)	子・若	次世代育成支援地域協議会の検討報告書にもとづき、既存施設を利用し、子どもたちが身近で安全に遊べる場や安心できる居場所の確保を図ります。	<p>項目名：各市民センターにおける子育て支援事業利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,815</td> <td>441</td> <td>1,626</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時休止および利用人数等の制限等を行いながら実施しました。今後は、感染状況を鑑みて、利用制限の解除の検討をしていきます。(子ども家庭支援課)</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,815	441	1,626				○	子ども家庭支援課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
3,815	441	1,626																												
91	子育てグループづくり		各施設における親子の遊びや交流・学習、母親学級などの機会を通して、親同士のコミュニケーションを図り、子育てグループの育成を図ります。	<p>項目名：子育て支援講座(BP)参加者数 単位：組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td> <td>14</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>項目名：親子スキニシッ教室参加者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,796</td> <td>990</td> <td>738</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度末現在</p> <p>生後2~5か月の乳児とその母を対象に、子育て支援センター内において、育児に関する講座を延べ16回実施しました。また、子育て支援に関する講座「親子スキニシッ教室」を9か所8回ずつ実施しました。今後は、感染状況を鑑みて、人数等の制限して開催をしていきます。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の一部中止および利用人数制限など感染防止対策を講じて実施しました。(子ども家庭支援課)</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	43	14	26				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,796	990	738				○	健康課 子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
43	14	26																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
1,796	990	738																												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																								
92	保育所の整備・充実の支援		施設整備計画にもとづき、私立保育所等の整備、充実を支援していきます。	項目名：対象園数 単位：園 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 保育園の合併にともない、保育園の増改築工事1園を実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	4	2	1				○	子育て推進課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
4	2	1																												
93	延長保育事業の充実		2時間延長保育等の内容の充実を図ります。	項目名：実施園数 単位：園 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>11</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 保育施設全園で30分～2時間の延長保育事業を実施しました。うち、2時間延長保育を実施した園は8園でした。引き続き延長保育の充実を図っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	11	8				○	子育て推進課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
14	11	8																												
94	休日保育事業の実施		休日保育の拡充を図ります。	項目名：利用人数 単位：人/年 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 平成27年度から実施施設はありません。ニーズが少なく、実施する保育所はありません。今後も、実施施設を募っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度							—	子育て推進課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
95	保育所・幼稚園等への巡回相談員等派遣事業の充実		市内全保育所および幼稚園等に、臨床心理士等の派遣による巡回相談を実施し、支援が必要な子どもと家庭の早期発見とその対応の充実を図ります。	項目名：派遣回数（幼稚園等） 単位：回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 項目名：派遣回数（保育所） 単位：回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99</td> <td>103</td> <td>109</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 幼稚園等の要望に応じ、巡回相談を充実させました。（子育て推進課）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	16	15				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	99	103	109				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
14	16	15																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
99	103	109																												

(4) 子育て世代の保護者負担の軽減

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
96	義務教育就学児医療費助成の実施		義務教育就学児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>207</td> <td>168</td> <td>179</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 小学校入学から中学校卒業までの義務教育就学児に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	207	168	179				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
207	168	179																
97	幼稚園等保護者への支援		幼稚園等に在園する子を持つ保護者の負担軽減のため補助を行い支援します。	項目名：交付対象者数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>892</td> <td>839</td> <td>721</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 園児の保護者に対し、国の補助を受けて幼稚園施設等利用費補助金を、都の補助を受けて保護者補助金を、また、青梅市独自で入園料補助金を交付しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	892	839	721				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
892	839	721																
98	児童手当の支給		児童手当（国制度）の適正・迅速な支給を実施します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,812</td> <td>1,742</td> <td>1,684</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 中学校卒業までの児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,812	1,742	1,684				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
1,812	1,742	1,684																
99	交通機関利用児童通学費補助		公共交通機関を利用して市立小学校・中学校へ通学する児童・生徒の保護者に対して、通学費を補助します。	項目名：通学定期利用人数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>380</td> <td>337</td> <td>313</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 昨年度と同様に補助を実施しました。今後も引き続き補助を行ってまいります。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	380	337	313				○	子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
380	337	313																

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																																				
100	ひとり親家庭等への医療費助成の実施	子・若 貧困対策	ひとり親家庭等に対し、医療費を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	53	54	55				○	子育て推進課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
53	54	55																																								
101	情報提供の充実		ライフサイクルに応じた記載など、さらに充実した「子育て支援ガイド」を作成するとともに、子育て世代の保護者がスマートフォン等により子育て支援情報を取得できる子育てモバイルを運用します。	項目名：子育て支援ガイド印刷数 単位：冊 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 項目名：子育てネットアクセス数 単位：千件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>314</td> <td>273</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 項目名：子育てモバイル新規登録者数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>554</td> <td>569</td> <td>494</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 子育てモバイルの運用にあたっては内容を精査しコンテンツの充実を図ります。今後も有益な情報が提供できるよう努めます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	6,000	6,000	6,000				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	—	314	273				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	554	569	494				○	子ども家庭支援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
6,000	6,000	6,000																																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
—	314	273																																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
554	569	494																																								
102	統合保育の充実	子・若	障害のある乳幼児と一緒に保育する統合保育を市内保育所等で実施し、必要な周知を図ります。	項目名：入所児童数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98</td> <td>106</td> <td>124</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 令和3年度は認可保育所30園、認定こども園1園に障害児が入所しています。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	98	106	124				○	子育て推進課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
98	106	124																																								
103	第三者評価サービスの実施		利用者のサービス選択のための情報提供と保育サービスの質を確保するため、市内の全保育所で第三者評価サービスを実施します。	項目名：実施園数 単位：園 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 全保育所で3年に1回、第三者評価サービスを実施しています。 令和3年度は認可保育所3園で実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1	2	3				○	子育て推進課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
1	2	3																																								

5 保護者と子の健康づくり

(1) 保険・医療体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
104	休日診療の実施	次世代	日曜日、祝日、年末年始に急病患者に対し、健康センター内青梅休日診療所および東青梅休日歯科診療所において内科・小児科、歯科の診療を実施します。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会、青梅市薬剤師会の協力のもと前年度と同様に実施しました。 なお、青梅休日診療所は、令和3年7月2日に健康センター隣の休日夜間診療所に移転した。	○	健康課
105	平日夜間診療の実施	次世代	平日の夜間に急病患者に対し、健康センター内青梅休日診療所において内科、小児科の診療を実施します。	青梅市医師会、青梅市薬剤師会の協力のもと前年度と同様に実施しました。 なお、青梅休日診療所は、令和3年7月2日に健康センター隣の休日夜間診療所に移転した。	○	健康課
106	市内医療機関の診療の実施	次世代	小児科を標ぼうしている市内の医療機関において診察します。また、青梅市立総合病院等において、第二次救急医療体制および第三次救急医療体制をとっています。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会、青梅市薬剤師会の協力のもと前年度と同様に実施しました。	○	健康課

(2) 保護者と子の健康づくり支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
107	むし歯予防教室の開催	次世代	8～12か月の子どもと親を対象に、むし歯予防教室を実施します。また、永久歯のほう出開始時期である5歳児に対し、むし歯予防教室（ビーパークラス）を実施します。	・乳歯が生え始める時期に、むし歯予防教室を年12回、永久歯が生え始める時期に5歳児むし歯予防教室（ビーパークラス）を年2回実施しました。	○	健康課
108	「食育」の推進	次世代 子・若	望ましい食習慣の定着のための学習機会や情報の提供（乳幼児～思春期、妊娠期）を充実します。	新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、調理実習や試食を伴うものは中止しましたものの、講義や調理のデモンストレーションなどを実施した。また、市広報、市ホームページ、子育てアプリで食習慣等に関する情報提供に努めました。	△	健康課

(3) 思春期保険対策の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
109	思春期保険対策の推進	次世代 子・若	①発達段階に応じた適正な性教育を行います。 ②喫煙・薬物乱用防止等の教育を充実します。 ③心の問題について相談体制の整備を図り、教育相談活動の充実に努めます。 ④市内の中学生を対象とした、薬物乱用防止のポスター・標語の募集を実施します。 ⑤市民を対象とした薬物乱用防止啓発活動を実施します。 ⑥東京都薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会を開催し、薬物乱用防止に向けた取組の検討を行います。	①学習指導要領および各学校の性教育全体計画にもとづき、児童・生徒の発達段階を考慮しつつ、各教科との関連を図りながら実施しました。 ②保健体育の授業やセーフティ教室等で、警察等と連携し、喫煙や薬物乱用防止についての教育を実施しました。 ③スクールカウンセラーや教育相談所の心理相談員による相談を実施しました。（指導室） ④7月から9月にかけて市内の中学校に依頼し、薬物乱用防止ポスターと標語合わせて42点の応募があった。そのうち厳選した12点について啓発活動に使用しました。（健康課） ⑤市役所および健康センターにおいて、薬物乱用防止ポスター、標語等を使用して啓発活動を行いました。（健康課） ⑥会議を年2回開催し、防止への取組みの検討を行い、防止の推進を図っている。（健康課）	○	健康課 指導室 学務課

6 支援が必要な子どもと家庭への支援の充実

(1) 子どもの虐待防止の取組の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
110	児童虐待の未然防止と被害に遭った子どもの支援	次世代 子・若	学校、保育所、警察等の関係機関との連携強化を進め、育児虐待などの被害に遭った子どもに対し、カウンセリングなどの支援を行います。また保護者に対しては、家庭環境の改善に向けた指導・支援を行うとともに、学校や児童相談所、医療機関などの関係機関と、再発防止に向けた連携を充実させます。	校長会等において、「児童虐待防止推進月間」について周知するとともに、早期発見や適切な対応について協議を行いました。(指導室) 健康センターでは、3~4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努め、関係機関との連携に努めます。(健康課) 関係機関との連携を図り、子どもの心のケア等について支援を行いました。 また、虐待防止の啓発活動を目的に、虐待防止動画を作成しました。(子ども家庭支援課) 青梅市障がい者サポートセンターとともに障害者虐待防止センターとして活動し、障がい者虐待防止に関するリーフレットの配架・周知を行い、虐待の未然防止に努めた。令和3年度の支援はなかったが、事実が発生した場合、関係機関との連携を図り、万一被害に遭った子どもには、ケア等の支援を行います。(障がい者福祉課)	○	子ども家庭支援課 健康課 指導室 障がい者福祉課

(2) ひとり親家庭等の自立支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
111	ひとり親家庭等の自立支援の推進	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭等の自立のためハローワークに連携した、自立支援プログラム事業を継続実施するとともに、資格の取得や教育訓練実施に対する支援を行います。	自立支援プログラムを1件策定しました。また、高等職業訓練促進給付金を23人、高等職業訓練終了支援給付金を6人にそれぞれ支給しました。	○	子ども家庭支援課

(3) 障害のある子どもがいる家庭への支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
112	支援を必要とする子どもと家庭の早期発見・早期支援	次世代 子・若	各種の健診、新生児訪問事業やこにちは赤ちゃん事業など様々な機会を通じて、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めます。	健康センターでは、3~4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めます。(健康課) こにちは赤ちゃん事業により生後4か月までの乳児家庭を全件訪問する中で、保護者からの聞きとり等により、支援を必要としている家庭の発見と、関係機関と連携し必要な支援へ繋げました。(子ども家庭支援課) 障害福祉施設等と情報共有し、必要な方がいつでも相談できるよう体制を整えました。(障がい者福祉課)	○	健康課 子ども家庭支援課 障がい者福祉課
113	障害児施策の充実	次世代 子・若	保健・医療・福祉・教育等が連携し、障害児の健全発達支援と生活支援を図るとともに、学習障害等への教育的支援を行います。また、特別支援教育への就学奨励を図るため、保護者の経済的支援を図ります。	児童発達支援および放課後等デイサービスの利用を促進し、障害児の健全発達を目的とした療育を提供しました。(障がい者福祉課) 学習障害等の児童生徒に対して、特別支援教室で支援を行いました。(学務課) 特別支援学級へ通学している児童生徒の保護者に対し、学用品費等の特別支援学級就学奨励費を給与することにより経済的支援を行いました。(学務課)	○	障がい者福祉課 健康課 学務課
114	特別支援教育の推進	次世代 子・若	①障害のある児童・生徒一人ひとりの能力を最大限に伸長するため、学校・家庭・地域および関係機関との密接な連携のもとに、乳幼児期から学校卒業後までのライフステージを見通し、施設の整備を含めた特別支援教育のさらなる展開を進めます。 ②リーフレットによる理解・啓発と保護者、市民向けの研修会の充実を図ります。	①特別支援学級および特別支援教室で個に応じた支援を行いました。(学務課) 特別支援教室(一小)に空調機を新設し、特別支援学級(一小、四小)の空調機を更新しました。備品および消耗品を購入しました。(施設課・教育総務課・学務課) ②リーフレットによる理解・啓発を行いました。市民向けの研修会については新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン開催としました。(学務課)	○	施設課 学務課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
115	心身障害者(児)緊急一時保護事業の実施	次世代 子・若	障害者(児)を在宅で介護している保護者が、疾病などの理由により介護することが困難になった場合に、福祉員を派遣し、一時的な保護を行います。	緊急一時保護により、在宅介護をしている保護者の支援を行いました。	○	障がい者福祉課
116	心身障害者(児)居宅介護事業の実施	次世代	障害支援区分にもとづき、法に定める居宅介護サービスのうち必要な支援を実施します。	施行細則にもとづき、適正なサービス提供を行い、心身障害者(児)の居宅介護支援を行うことができました。	○	障がい者福祉課
117	私立幼稚園への支援	次世代 子・若	心身障害児教育事業費補助を行い支援します。	平成29年度末をもって、補助金が廃止されました。	—	子育て推進課
118	地域活動支援センター事業の充実	次世代 子・若	地域で生活している障害者(児)およびその家族に対して、相談支援体制を整備し、必要な支援を行います。	障がい者福祉課が窓口になり、青梅市障がい者サポートセンターにおいて、相談体制の充実を図り、障害者およびその家族、関係機関からの相談に適切に対応するとともに、高次脳機能障害に対する普及啓発にも努めました。	○	障がい者福祉課
119	障害のある児童の居場所づくり	次世代 子・若	障害のある児童の放課後等における療育の場を整備し、安心して活動できる場所を提供します。	令和3年度では、放課後等デイサービスの利用は328人あり、障害児が安心して活動できる「居場所」を提供できました。	○	障がい者福祉課

(4) 貧困による困難を抱える子どもたちへの支援

①教育の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
120	私立幼稚園等・保護者への補助金 (再掲No. 149)	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付しました。	○	子育て推進課												
121	受験生チャレンジ支援貸付事業 (再掲No. 150)	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページ等に掲載することで、この事業内容の周知に努めた。令和3年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ448件の相談があり、109件の貸付を行った。	○	福祉総務課												
122	子どもの学習・生活支援事業	子・若 貧困対策	経済的な理由により十分な学習ができない小学3年生から6年生までおよび中学生を対象に、家庭訪問による学習支援やその保護者に対する進学指導等を行います。	項目名：利用者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度より対象学年を小学3年生へ引き下げ、小学3年生から中学生までを対象とした家庭訪問による学習支援を実施いたしました。</p>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	16	16				○	生活福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
14	16	16																
123	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 (再掲No. 143、155)	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者なし 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子ども家庭支援課												
124	就学援助	子・若 貧困対策	経済的な理由で小・中学校の教育費支出が困難な家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助します。	令和3年度は700世帯(小学生654名、中学生433名)の家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助しました。(学務課)	○	学務課												
125	青梅市育英資金(奨学金)融資	子・若 貧困対策	高校および大学等の就学奨励のため、保護者の方を対象とした奨学金を融資します。	令和3年度は奨学金を新規に24件を融資しました。(学務課)	○	学務課												
126	教育相談所	子・若 貧困対策	幼児・小学生・中学生に関しての不登校、学習、心配な行動などの様々な悩みについて相談に応じます。	令和3年度は来所相談を579件、電話相談を40件受けました。相談件数は増加傾向ですが、適切に相談活動を行っています。(学務課)	○	学務課												
127	適応指導教室の設置(ふれあい学級) (再掲No. 32)	子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、学校復帰を目指した指導や、適応指導教室への入級を推進します。 ②適応指導教室に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・適応指導教室等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行いました。 ②適応指導教室の経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行いました。(指導室)	○	指導室												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
128	特別支援教室	子・若 貧困対策	障害のある幼児・児童・生徒の生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導および必要な支援を行います。	東小・中学校を除く全小・中学校に設置されている特別支援教室では、支援が必要な児童・生徒に適切な指導が行われています。(学務課)	○	学務課
129	学力向上対策事業「サタデークラス」	子・若 貧困対策	市民センター等において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、教育課程時間外の土曜日に、算数・数学・国語の学習を支援します。	「サタデークラス」事業を見直し、塾に通っていない中学3年生を対象に、受験対策として「スタディ・アシスト」事業を実施しました。	○	指導室
130	学校の放課後補修事業「ステップアップクラス」	子・若 貧困対策	市内小・中学校において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、放課後等に、算数・数学・国語の学習を支援します。	各学校の放課後等において学習支援事業を行う「ステップアップクラス」を実施した。	○	指導室
131	放課後子ども教室「タヤけランド」	子・若 貧困対策	小学校の余裕教室等を利用し、放課後にスポーツや文化活動のほか、様々な体験活動や学習機会を提供するとともに、地域住民との交流活動を行います。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部休止期間があったが、小学校16校で体育館や教室、校庭を使い児童の安全安心な放課後の居場所として実施することができた。また、様々なスポーツや文化活動、体験活動、学習などの機会を提供することができた。スタッフも公募で募集した地域住民などにより安全に開催できた。延べ参加者数は10,420人でした。(社会教育課)	○	社会教育課

②生活の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課																								
132	自立相談支援事業	貧困対策	生活上での様々な問題に応じた継続的な相談を行い、必要な支援を相談者と一緒に考え、具体的なプランを作成し、自立に向けた支援を行います。	項目名：相談者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td>321</td> <td>562</td> <td>401</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 項目名：延べ相談件数(※年度末現在) 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td>3,599</td> <td>8,779</td> <td>9,075</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	321	562	401				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,599	8,779	9,075				○	生活福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
321	562	401																												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
3,599	8,779	9,075																												
133	家計改善支援事業	貧困対策	相談者が自分自身で家計の問題を把握し、適切な家計管理ができるよう支援します。	項目名：支援者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	12	15	15				○	生活福祉課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
12	15	15																												
134	住居確保給付金事業(再掲No.151)	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をすることを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数(※年度末現在) 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>134</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	2	134	100				○	生活福祉課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
2	134	100																												
135	乳幼児ショートステイ事業	貧困対策	保護者が病気、出産、出張等で一時的にお子さんを養育できない場合に、保護者によって7日間を限度に保育します。	保護者の病気、出産、出張等の理由により、延べ78人の乳幼児ショートステイの利用がありました。	○	子ども家庭支援課																								
136	子ども食堂推進事業	貧困対策	民間団体等が行う地域の子どもへ食事および交流の場を提供する取組について、その経費の一部を補助し、各中学校区に一か所程度の実施を目指します。	子ども食堂推進事業として、2団体に補助金の交付をいたしました。	○	子ども家庭支援課																								
137	育児支援ヘルパー事業	貧困対策	産前・産後の母親の心身が不安定な時期であって、他に支援する者がなく、母親の体調不良、育児ストレス等で家事および育児が困難な妊産婦に対して、無料でヘルパーを派遣します。	育児支援ヘルパーの利用者が5世帯9回の利用がありました。	○	子ども家庭支援課																								
138	こんにちは赤ちゃん事業(再掲)	次世代 貧困対策	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等を把握することにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	こんにちは赤ちゃん事業により生後4か月までの乳児家庭を全件訪問する中で、保護者からの聞きとり等により、支援を必要としている家庭の発見と、関係機関と連携し必要な支援へ繋げました。(子ども家庭支援課)	○	子ども家庭支援課																								
139	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	貧困対策	義務教育終了前のお子さんのいるひとり親家庭で、生活環境の激変により日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣します。	項目名：ホームヘルプサービス実施世帯数 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 年度末現在 R3は申請数がありませんでした(新型コロナウイルスの影響と思われる)。 離婚後の生活の激変や職業訓練校等への通学など、支援の必要なひとり親世帯に有益と思われます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3	0	0				○	子ども家庭支援課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
3	0	0																												
140	市営住宅	貧困対策	住宅に困窮する世帯を対象として市が家族向けの住宅を設置・管理します。	令和3年度のあき室募集で18世帯の入居があった。	○	住宅課																								

③保護者に対する就労支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
141	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（再掲No. 153）	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	3人に支給済 新型コロナウイルスの影響で、就職・転職が難しいこともありますが、資格を活かした就職・転職が促進されました。	○	子ども家庭支援課
142	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金（再掲No. 154）	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 23人 高等職業訓練修了支援給付金 6人に支給済 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっています。	○	子ども家庭支援課
143	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金（再掲No. 123、155）	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者なし 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子ども家庭支援課
144	母子・父子自立支援プログラム策定等事業	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭の母または父を対象に、個々の状況に応じた就職支援を母子・父子自立支援員が行います。	1件実施 ハローワークと連携。生活環境を整えながら就職支援を行い、採用に結びつくことができました。	○	子ども家庭支援課
145	就労支援員による就労支援	貧困対策	生活に困窮している方を対象に、専門の相談員が、履歴書の書き方や面接の対応の相談、仕事に就くための支援をハローワークと連携して行います。	子育て世帯の就労支援について、相談業務を9件実施しました。	○	生活福祉課

④経済的支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課												
146	児童扶養手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、児童扶養手当を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>694</td> <td>549</td> <td>540</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在（R元の支払い対象は15か月分） ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	694	549	540				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
694	549	540																
147	児童育成手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童の福祉の増進を図るため、児童育成手当（育成手当）を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>375</td> <td>369</td> <td>361</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	375	369	361				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
375	369	361																
148	ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親医療証）（再掲No. 100）	貧困対策	ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	53	54	55				○	子育て推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
53	54	55																
149	私立幼稚園等・保護者への補助金（幼稚園施設等利用費補助金・保護者補助金・入園料補助金）（再掲No. 120）	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付しました。	○	子育て推進課												
150	受験生チャレンジ支援貸付事業（再掲No. 121）	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページ等に掲載することで、この事業内容の周知に努めた。令和3年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ448件の相談があり、109件の貸付を行った。	○	福祉総務課												
151	住居確保給付金事業（再掲No. 134）	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をするを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数（※年度末現在） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>134</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	2	134	100				○	生活福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
2	134	100																

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評価	主な担当課
152	母子および父子福祉資金・女性福祉資金貸付	貧困対策	母子・父子家庭の方等を対象に、修学・就学支度等の各資金をお貸しします。	14人に貸付を行いました。 ひとり親家庭の子の高校・上位学校への進学・修学に寄与しています。	○	子ども家庭支援
153	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（再掲No. 141）	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	3人に支給済 新型コロナウイルスの影響で、就職・転職が難しいこともありますが、資格を活かした就職・転職が促進されました。	○	子ども家庭支援
154	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金（再掲No. 142）	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 23人 高等職業訓練修了支援給付金 6人に支給済 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっています。	○	子ども家庭支援課
155	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金（再掲No. 123、143）	貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者なし 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子ども家庭支援課